

英国刑法/渋谷慥爾(講義)；畔上啓策(編輯)
(英吉利法律講義録(1886(明治19)年度 第1年級))

このPDFファイルは、英吉利法律講義録(1886(明治19)年度 第1年級)(原裝本デジタル・データ)から、英国刑法の部分を抽出して編集したものである。

2015年7月 中央大学大学史資料課

英國刑法

法學士 澁谷 慥爾 講義

校 友 畔上 啓策 編輯

緒言

英國刑法ハ余ノ擔任シテ茲ニ諸君ト共ニ攻窮スル所ノモノナリ余ハ
 之ヲ講スルニ主トシテスチトブン及ビシヨツプ氏等ノ刑法註釋ニ依
 リ左ノ順序ニ隨ヒ之ヲ講述セント欲ス然レトモ今茲ニ一言以テ諸君
 ニ望ム所アリ本校ニ於テハ別ニ本邦刑法課目ノ設ケアレハ諸君ハ宜
 シク彼我ヲ參觀シテ法律ノ精神ヲ審ニシ實地應用ニ熟練スルノ能力
 ナ養成セラレンコトナ

第一 犯罪及刑罰ノ性質

第二 犯罪ノ能力ヲ具備スル人

第三 犯罪ノ程度(正犯從犯等ノ如シ)

第四 犯罪ノ種類及之ニ適用ス可キ刑罰

第五 犯罪ヲ防遏スルノ方法

第六 各犯罪ニ刑罰ヲ適用スル方法

凡何レノ國タルヲ問ハス犯罪及其刑罰ノ性質ヲ論窮測定スルモノハ即刑法ニシテ英國ニ於テハ通例之ヲ刑法ノ原理^vドクトリン、ナフ、ゼ、プリース、ナフ、ゼ、ク、ラウン^vト稱ス蓋國王ハ全社會ノ權力ヲ其一身ニ占有スルヲ以テ社會ニ害ヲ與フルトキハ法律上國王ニ害ヲ加ヘタルモノト推定シ刑事ノ場合ニ於テハ國王又ハ政府カ常ニ被害者ノ地位ニ立テ原告トナルヨリシテ斯クハ稱スルナリ

犯罪ノ性質區域及程度ヲ指示シ且之ニ相當ノ刑罰ヲ適應スル刑法ヲ學フハ最緊要ノコトニシテ社會人民ニ一日モ缺ク可カラサルモノナ

ルカ故ニ苟立法者ニシテ適當ノ法律ヲ制定シ之ヲ實際ニ施行セント
 欲セハ勉メテ恒久ニシテ一様且普通ノ原則ニ基キ眞理公義ノ命スル
 處ニ隨ヒ人情及人類不朽ノ權利ニ符合セシムルコトニ注意セザル可
 カラス然レトモ時ト場合トニ關セス必スシモ斯クノ如クシテ法律ヲ
 制定セサル可カラスト云フニ非ス苟右等不朽ノ境界ヲ超ヘサル範圍
 内ニ於テ風土人情ノ如何ニ依リ多少變更伸縮スル處アルモ妨ケナキ
 モノトスブラツクストトン氏歐州各國ノ刑法不完全ナル理由ヲ擧ケ
 テ曰初メ法律ヲ制定スルニ當リ右ノ諸原則ニ注意セスシテ野心復酬
 等ノ貧慾ヲ基トシ或ハ政府革命ノ際ニ征服者或ハ暴徒輩ノ制定シタ
 ルモノニシテ彼此相容レサル政治上ノ規律ヲ固守スルコト或ハ一時
 ノ便宜ニ出テタル制裁ニ永久ノ驗効ヲ附與スルコト或ハ犯罪ヲ防遏
 スル爲メ右等ノ方法ヲ濫用シ大ニ其目的ヲ誤リタルコト等ノ諸原因

ヨリ歐洲各國ノ刑法ハ皆其民法ニ比スレハ遙カニ粗陋不完全ナルモ
 ノニシテ英國ノ如キ其刑法ハ他國ニ比シテ稍完全ノ地位ニ達シ精密
 ニ犯罪ノ目ヲ明示シ之ニ適用スヘキ刑罰ヲ確定シ以テ判官ヲシテ愛
 憎偏頗ノ念慮ヲ挾ムヲ得サラシメ裁判ヲ公行シテ以テ拷問ノ方法ヲ
 用弗ス判官ノ獨立公平無私ナルコト等ハ他國ニ對シテ大ニ誇ル所ナ
 リト雖猶修正改良ヲ要スルノ缺點アルヲ免レストブラツクスト
 氏ノ時代以降、晚近ニ至ル間立法者ニ於テ必要ト認メ刑法上重大ナル
 進歩改良ヲ來シタルコトハ固ヨリ言フ俟タスト雖猶公平ナル註釋家
 ハ英國ノ刑法ハ完全無缺ノモノト云フヲ得サルヘシ余ハ是ヨリ犯罪
 及刑罰ノ性質ヲ説カンニ先犯罪ノ性質ヨリ述ヘテ刑罰ノ性質ニ論及
 セント欲スルナリ

第一編

犯罪及刑罰ノ性質

第壹章 犯罪ノ性質

犯罪ニ公犯私犯ノ別アリ然レトモ其區別タル程度ノ疑問ニシテ立法者カ此ハ社會公衆ヲ害スルノ大ナル所爲ナルヲ以テ刑法ノ制裁ヲ加ヘ彼ハ一私人ヲ害スルノミニテ其餘毒ヲ社會ニ及ホサル所爲ナレハ刑罰ヲ加フルノ必要ナシト認ムルニ止マリ理論上豫メ之カ範圍ヲ確定スルハ到底望ム可カラスト雖ステーブンブルーム氏等ノ說ニ依レハ私犯トハ一私人タル資格ヲ有スル一個人ノ權利ヲ害シ又ハ之ヲ剝奪スルノ行爲ヲ云ヒ公犯トハ社會ヲ總括シテ一個人ト認メ其一個人タル資格ヲ有スル社會ノ權利ヲ害スルノ所爲ヲ稱スト例ヘハ甲者アリ乙者ノ所有ニ屬スル田野ヲ押領シタリトセヨ是レ所謂私犯ニシテ公犯ニ非ラス如何トナレハ其關係スル所單ニ一私人ノ權利ニ止マリ甲乙兩者ノ内孰レカ田野ヲ所有スルモ社會公衆ニ對シテハ損

益ナケレハナリ之ニ反シテ國事犯謀殺強盜等ノ如キハ適當ニ公犯中
 ニ位スルモノトス何トナレハ此場合ニ於テハ一個人ノ蒙ムリタル損
 害ノ外ニ其餘毒ヲ全社會ニ流スヲ以テモシ斯ノ如キ行爲ヲ無罪トス
 ルトキハ社會ハ一日モ存立スルヲ得サレハナリ
 凡何レノ場合ヲ問ハス公犯アレハ必ラス私犯モ其中ニ含蓄スルモノ
 ニシテ公犯ハ一私人ヲ害スルト共ニ全社會ニ其餘毒ヲ及ホスモノナ
 リ例ヘハ國事犯ノ如キ國王ヲ殺害セント思料スルトキハ一個人ニ對
 スル謀反モ其中ニ抱括スルモノニシテ是即私犯ナリ然リト雖斯ノ如
 キ種類ノ國事犯ハ其結果タル主トシテ政府ノ顛覆及社會ノ秩序安寧
 ナ破壊スルニ終ルモノナルカ故ニ之ヲ公犯中ノ最重大ナルモノトセ
 リ謀殺ノ如キモ亦一私人ノ生命ヲ害スルモノナリト雖社會ノ法律ハ
 主トシテ其社會員ノ生命ヲ剝奪セラレタル損害及他日又此惡例ニ倣

フ者アラシコトヲ思料シ爲害者ヲ罰シテ以テ社會ヲ保護スルナリ強盜犯ノ如キモ亦然リ強盜ハ一私人ノ財産ヲ害スルモノナレハ民事上其損害ヲ賠償セシムルヲ以テ足レリトスルカ如シト雖其餘毒ノ及フ處ハ決シテ一個人ノ財産ニ止マラサルヲ以テ刑罰ヲ施スモノナリ以上述ヘタル如キ重大且殘虐ナル損害ノ場合ニ於テハ一私人ニ對スル兇惡ハ全社會ニ對スル兇惡中ニ併呑サル、カ故ニ廣ク社會公衆ニ關スル罪ヲ罰シ又別ニ一私人ニ對スル罪ヲ罰スルカ如キ例アルヲ知ラス而シテ公衆ニ對スル犯罪ハ爲害者ノ性命若クハ財産ヲ沒収スルヨリ他ニ之ヲ罰スルノ方法ナキヲ以テ一私人ニ對スル救正ノ如キ爲害者ノ身体又ハ所有品ヨリ得ルモノハ公衆ニ對スル罪ヲ罰シタル後チ別ニ又一私人ニ對スル罪ヲ罰セント欲スルモ到底得ヘカラサルコトナリ然レトモ均シク公衆ニ對スル犯罪ニシテ其性質稍輕ク隨テ其刑

罰モ亦嚴酷ナラサルモノアリ此等ノ犯罪ニ就テ視ルトキハ公犯私犯
 ノ區別自ラ判然タリ例ヘハ他人ヲ毆打シタル場合ニ於テ爲害者ハ刑
 法上治安妨害ノ罪ヲ以テ論シ罰金及禁錮ノ刑ニ處シ傍ヲ被害者ハ民
 事上私訴ヲ提起シ特ニ其一身ニ蒙リタル損害賠償ヲ要求シ得ルカ如
 シ道路ニ溝渠ヲ穿テ公安ヲ妨害スルノ類モ亦刑法ヲ以テ罰スルハ勿
 論ナリト雖若一私人ノ此溝渠ニ陥リテ其馬ヲ傷ケ其馬車ヲ毀損スル
 等ノ害ヲ蒙ムルトキハ民事上損害要償ノ私訴ヲ提起シ得ルモノト
 ス
 要スルニ一切ノ害惡法律ニ背反スルニ就キ法律ハ二重ノ意見ヲ附ス
 ルモノニシテ一方ニ於テハ一個人タル被害者ノ權利ヲ回復セシメ又
 ハ其損害賠償ヲ得セシメ他ノ一方ニ於テハ主權者カ政府及全社會ノ
 安寧ヲ保持スル爲メニ制定シタル法律規則ニ違背スル者ヲ罰シテ以

Felony

「フェロニー」
ノ解

Crime
Misdemeanor

テ社會ノ幸福ヲ保護スルナリ而シテ如何ナル所爲ヲ犯罪ト稱スルカ
 其之ヲ罰スルノ方法如何ハ即本法ノ論スヘキ所ナリ
 通常ノ言語ニテ「クライム」(刑罪)ト云ヘハ重罪輕罪ヲ指スモノニシテ治
 安裁判官カ即決裁判ヲ以テ科料等ニ處スルモノハ之ヲ「クライム」ト稱
 セスシテ一層普通ノ語ヲ用ヒ「チーフエンズ」(罪科)ト言フナリ斯ノ如ク
 「グライム」ハ重罪「フェロニー」或ハ輕罪「ミスデミノル」ヨリ成リ立ツモノ
 ニシテ「ミスデミノル」ナル語ハ通常「フェロニー」ニ至ラサル輕キ「クライ
 ム」ヲ表スル爲メニ使用セラレ、カ如シト雖適當ニ之ヲ云ヘハ「クライ
 ム」ト同意義ナルヲ以テ是ヨリ「フェロニー」ナル語ノ性質及意義ニ就テ
 數言ヲ費スヘシ

「フェロニー」ナル語ハ英國ニ於テハ凡犯罪トシテ罰スルニ土地及其他
 ノ財産沒収ヲ以テスルモノトス國事犯ノ如キ亦然リ國事犯ハ總テ「フ

英國刑法

九

エロニ一_一中ニ含有スレトモ總テノ「フエロニ一」ハ國事犯ニハアラサル
 ナリ其他死刑ヲ以テ論ス可キ罪或ハ殺人罪或ハ自殺罪ノ如キ皆此中
 ニ包有スルモノトス是レ財産沒収ノ刑ヲ加フルヲ以テナリ故ニ今此
 語ノ定義ヲ下セハ左ノ如シ

普通法上土地若クハ其他ノ財産或ハ土地其他ノ財産共ニ沒収スル罪
 ナ「フエロ一」ト云フ而シテ其度ノ高キモノニハ死刑又ハ其他ノ刑ヲ附
 加スルモノトス

「フエロニ一」ノ文字ハ「フヒ一」「ロ一」ノ二ツヨリ成立シ「フヒ一」トハ利益
 アル財産ト云フ意ニシテ「ロ一」ハ價值ト云フ義ナリ而シテ此文字ヲ
 犯罪ニ適用スルニ至リシ由來ハ昔封建時代ニ在リテ主領者ヨリ其從
 屬者ニ土地ヲ附與シ置キ從屬者若シ罪ヲ犯ストキハ之ヲ罰スルニ其
 土地ヲ沒収セシヨリ後世之ヲ傳ヘテ重罪ニハ「フエロニ一」ナル語ヲ用

刑罰權^本 Power of human
Punishment 質

刑罰ノ性^リ Nature of
Punishment

ヒルニ至レリ前ニ死刑ヲ以テ罰スヘキ罪ハ「フエロニ」ナリト述ヘタ
リト雖普通法上死刑ニ處スルモ「フエロニ」ニアラサルモノアリ即異
教ヲ奉スル罪ノ如キハ死刑ヲ以テ罰スルモ犯罪者ノ財産ヲ沒收スル
コトナキヲ以テ「フエロニ」ニアラス要スルニ「フエロニ」トハ犯罪者
ヲ罰スルニ多少其所有財産ヲ沒收スル罪ヲ云フナリ

第二章 刑罰ノ性質

刑罰トハ法律ニ定メタル重罪輕罪ヲ犯シタルモノニ蒙ラシムル「イビ
ルス」兇害即不便ヲ云フ余ハ今茲ニ刑罰權ト刑罰ノ目的及其程度ヲ順
次ニ略述スヘシ

第一節 刑罰權

元來人類ナルモノ、社會ヲ成シテ生存シ違法ノ者ニハ刑罰ヲ科スル
ト云フ即其刑罰權ハ何故立法者之ヲ有スルモノナリヤト問フニ曰法

律ニ背反スル者ヲ罰スルノ權利ハ獨リ立法者ノミナラス誰人ニテモ
尙社會ニ生存スルモノハ此權ヲ受ケ得タルモノナリ然ルニ人ヲ殺ス
勿レト云フ天理ノ存スルモ其違背者ヲ罰スル者ナキ時ハ天理モ其功
ヲ奏スル能ハサルヲ以テ社會中何人カ此權ヲ有スルモノナカル可カ
ラス果シテ何人カ之ヲ有スル者アリトモハ社會ノ人類モ亦皆此權ヲ
有スルモノナリ如何トナレハ社會ノ人類ハ皆平等一樣ナルヲ以テナ
リ然レトモ尙一社會ヲ成ス以上ハ其社會人中ノ有スル刑罰權ハ擧テ
之ヲ其主權者ニ依托シ以テ各自ニ關スル事ニ就テ各自裁判官タルノ
弊ヲ防クモノナリ

凡犯罪ニハ「マ」ラ「プロ」ヒ「タ」リ「及」マ「ライ」ン「スト」ノ別アリ「マ」ラ「プロ」ヒ「ビ」
「タ」リ「ト」ハ人定法ニ反スルノ所爲ヲ云ヒ「マ」ラ「イン」ズ「ト」ハ天法ニ反ス
ルノ所爲ヲ云フ例ハ法律ヲ以テ阿片烟ヲ喫スルヲ禁止スル如キハ

「マラプロ
ヒビター
ト」マライ
ンスター」ト
ノ區別

「マラプロヒビター」ニシテ人ヲ殺ス勿レ等普通一般ノ惡事ハ「マライ
ンスター」ナリ語ヲ換ヘテ云ヘハ後者ハ法律ヲ待タス其性質上既ニ兇惡ナ
ルモノヲ指シ前者ハ其性質ハ然ラサルモ法律之ヲ惡事ト爲シタルモ
ノヲ云フ

第一種ノ「マラプロヒビター」ノ犯罪ニ關シ主權者カ其犯罪者ニ對シテ
刑罰ヲ被ラシムルノ權ヲ有スル所以ハ此權タル固ト爲害者ト合意上
ヨリ來ルモノトス何トナレハ人民各自明白ニ之ヲ約セシコトナキモ
苟人類相群居シテ社會ヲ組成セシ以上ハ法律ヲ制定シテ之ヲ實際ニ
施行シ之ニ背反スル者ヲ罰スルコトハ擧テ之ヲ主權者ニ依托シタル
モノナリ故ニ刑罰權ノ歸スル所ハ爲害者ノ受クル刑罰ハ爲害者自ラ
制定シタル法律ニ依テ刑セラル、モノニシテ約言スレハ刑罰ヲ科セ
ラル、ハ約束上ヨリ出タルモノト云フテ不可ナキナリ

然レハ主權者ノ有スル權限ノ區域ハ如何ト尋ヌルニ曰社會人民各自
 ノ有スル權ト同一ニシテ之ヨリハ一步モ超ヘテ刑罰ノ權ヲ有セサル
 モノトス

第二種ノ「マラインス」即其性質上兇惡ナルモノニ關シテハ直チニ上
 帝ノ命令ヲ以テ刑罰ヲ施スモノアリ彼ノアノ一族ノミチ存シテ他ハ
 洪水ノ爲メニ流サレタル如キハ其一例ナリトス又上帝ニアラスシテ
 主權者ノ意見ヲ以テ「マラプロヒビター」ノ犯罪者ト雖死刑ニ處スルコ
 トアリ

然リト雖「マラプロヒビター」ノ犯罪ニ關シテハ立法者ハ最大ノ熟慮ヲ
 費シタル後ニ非サレハ容易ニ死刑ヲ施ス可カラス抑犯罪者ヲ死刑ニ
 處スルト否トテ立法者ノ判斷ニ一委スルハ甚危険ナルコトナリ如何
 トナレハ犯罪者ヲ死刑ニ處スル所以ハ社會ニ例ヲ示シテ犯罪者ヲ防
 テス

死刑ハ容
 易ニ之ヲ
 行フヘカ
 ラス

刑罰ノ目的

クト他ニ之ヲ罰スルノ方法ナキノ故ニ非ス犯罪ヲ罰スルノ目的ハ固ヨリ他人ヲシテ之ニ傲ハシメサルノ龜鑑トスルニ在リト雖トモ之ヲ以テ他人ヲ威嚇セシムルハ正當ナリト云フヲ得ス如何トナレハ良シヤ法律ハ公正ナルニモセヨ其之ヲ實際ニ施行スルノ手段ハ業ニ既ニ正當ナルモノニアラサルヲ以テナリ蓋人ノ性命ヲ絶ツハ最モ謹慎ヲ加ヘ其情ノ最モ惡ムヘキモノナル場合ニ限ルモノニシテ人類ノ性命ハ上帝ノ賜モノナレハ人類ハ自ラ其生活ヲ辞セント欲スルモ能ハス又他人ノ性命ヲ剝奪スルヲ得サルモノニシテ苟上帝ノ命令アルニアラサレハ決シテ人類ノ性命ヲ絶ツ能ハサルモノトス

第二節 刑罰ノ目的

法律ニ背反スル者ニ刑罰ヲ加フルハ敢テ復讐ノ目的ニ出テタルモノニアラスシテ現犯罪者ヲ罰シテ未來ノ犯罪者ヲ防ク爲メナリ現犯罪

者ヲ罰シテ未來ノ人ヲ戒ムル方法ニ三アリ

第一 犯罪者ヲ罰金禁錮又ハ流罪等ニ處スルコト

第二 犯罪者ニ耻辱ヲ蒙ラシムルコト

第三 犯罪者ノ性命ヲ剝奪シ又ハ終身ノ流刑ニ處シ或ハ奴隸トナ

スコト

現犯罪者ヲ罰シテ未來ノ人ヲ戒ムルノ方法ハ斯ノ如ク異ナル所アリト雖其結果ニ至テハ毫モ異ナル所ナシ此方法ヲ以テ刑罰ヲ行フトキハ社會ノ安寧ヲ保テ未來ノ人ヲ戒ムルノ目的ヲ達スルコトヲ得ルモノトス故ニ刑罰ヲ科スルニハ其目的ニ比例シテ之ヲ科スルモノニシテ例ヘハ一時ノ禁錮ニ處シテ懲治スルヲ得ルモノハ之ヲ禁錮ノ刑ニ處シ又其情最惡ムヘク且重クシテ到底懲治スルノ見込ナキモノハ死刑等ニ處スルカ如シ

刑罰ノ程
度

Measure of
Punishment

第三節 刑罰ノ程度

刑罰ノ分量即程度ハ唯刑罰其物ニ就テノミ之ヲ定ムルコトヲ得ス必
他ニ比較スル所ナカル可カラス然レク如何シテ之ヲ定ムル乎ト云フ
ニ自然ノ法律ト社會ノ法律トヲ基礎トシ如何ナル刑罰ヲ科スルトキ
ハ社會ノ安寧ヲ保持シ未來ノ人ヲ戒ムルニ足ルヤ否ヤヲ考察シテ之
ヲ定メサル可カラス

古昔ハ羅旬語ノ「レツキスタリ」ニ「即復讎ノ法」ヲ以テ其程度ヲ定ム
ル最良ノ方法トセリ然レトモ此等ハ未以テ良法トスルニ足ラス元來
犯罪者ヲ罰スルニハ其人其時其場所又ハ事情ノ如何ヲ問ハスシテ只
復讎ヲ主トシテ他人ノ一眼ヲ抉リタル者ヲ罰スルニ其人ノ一眼ヲ抉
リ誹譏犯ヲ刑スルニ誹譏ヲ以テシ犯姦罪ヲ罰スルニ犯姦ヲ以テスル
モ到底其目的ヲ達スルコト能ハサルヘシ如何トナレハ今假ニ貴族カ

農民ヲ歐打シタル場合ニ於テ裁判官ハ農民ヲシテ貴族ヲ打返サシム
 ルノ命令ヲ下シタリトセヨ斯ノ如キハ農民ノ受ケタル害ヨリモ貴族
 ノ刑重キヲ以テ相當ノ返報ト云フヲ得サルヘシ之ニ反シテ返報主義
 ノ法律ハ又輕キニ失スルコトアリ例ヘハ甲者アリ故意ヲ以テ既ニ一
 眼ヲ失シタル乙者ノ他ノ一眼ヲ抉リタリトテ甲者ヲ罰スルニ其一眼
 ヲ抉去ルコトヲ以スルカ如シ此場合ニ於テ甲者ノ一眼ヲ抉リ去ルモ
 猶他ノ一眼アルヲ以テ甲者ハ依然視力ヲ有スルト雖乙者ノ如キハ固
 ヲリ一眼ナル其一眼ヲ抉リ去ルトキハ全ク視力ヲ失スルヲ以テ刑罰
 ノ權衡其當ヲ得タリト云フ可カラス故ニ他人ノ一眼ヲ抉リタル者ヲ
 罰スルニ其一眼ヲ抉リ去ルヲ以テスル羅馬ログリアンスノ法律ノ如
 キハ後世一眼者ノ一眼ヲ抉リタル者ヲ罰スルニハ其双眼抉去ヲ以テ
 スルコトニ改メタリト雖要スルニ斯ノ如キハ不當ノ法律タルヲ免レ

サルナリ他人ヲ殺害スル者ハ通例死刑ニ處スルヲ以テ或ハ人ヲ殺シタルカ故ニ之ヲ殺スト云フ返報主義ニ出ルモノトノ疑ヒナキニ非ス然レトモ殺害者ヲ死刑ニ處スルハ返報主義ヨリ來ルモノニ非ス抑人ヲ殺害スルカ如キハ最惡ムヘク最嫌フヘキ所爲ナルヲ以テ之ヲ罰スルニ嚴刑ヲ以テスルト云フ意ニ在リ敢テ復讐ノ義ニ出テタルモノニ非ス

英國ニテモエドワード第三世ノ時ニ誣告犯ヲ罰スル爲メ返報主義ノ法律ヲ設ケタルコトアリシモ僅カニ一年ヲ出テスシテ之レヲ廢棄セリ
 以上述ヘタル如ク一定ノ規則ヲ以テ刑罰ノ分量ヲ決スルコトハ到底得ヘカラサルヲ以テ之ヲ測定スルハ立法者ノ意思ト辨別ニ一委スルヨリ外ナキカ如シ然レトモ犯罪ノ性質及情狀ヨリ曳出シタル普通ノ

原則アリ其原則タルヤ適當ノ刑罰ヲ賦當スルニ多少補益スル所ナシ
 トセサルヲ以テ今左ニ之ヲ陳述スヘシ
 第一、刑罰ノ目的ニ關スル原則ニシテ損害ノ目的大且重ナルノ度ニ應
 シテ其損害ヲ防遏スルノ注意モ大ナリ隨テ之ニ蒙ムラシムル刑罰モ
 亦嚴酷ナラサル可カラス故ニ皇帝若クハ女王等ヲ殺害セント謀ル國
 事犯ノ如キハ英國ノ法律ニテハ之ヲ罰スルニ嚴刑ヲ以テスルナリ又
 單ニ犯罪ヲ企圖スルノミニテハ其之ヲ實際ニ遂ケタル如キ惡ムヘキ
 モノニアラス如何トナレハ凡テ兇惡ハ之ニ近接スルニ隨テ益不快戰
 慄ヲ感スルモノナレハ單ニ兇惡ヲ企圖スルノミナラス其之ヲ實際ニ
 爲シ遂クルニハ一層頑固ナル惡意ヲ要スレハナリ是蓋悔悟慚愧ノ念
 慮ヲ獎勵スルモノニシテ犯罪ヲ遂ケ終ルノ際ト雖其非ヲ悔テ中止ス
 ルハ決シテ遲トセス犯罪ノ中途ニテ先非ヲ悔ヒ惡意ヲ放棄スルハ其

之ヲ遂クル爲メ猶一步ヲ進ムニ優ルコト固ヨリ言テ俟タス彼重罪未
 遂犯等ヲ其既遂犯ニ比スレハ數等輕キ刑罰ニ處スルハ卽此理ニ基ク
 モノナリ然リト雖國事犯ノ如キ其目的トスル所國王等ノ殺害ニ在ル
 モノハ單ニ企圖ノミニ止ラス企圖者動作中自ラ其意思ヲ有スルコト
 ナ證明スルモノアルヲ以テ其意思ニシテ若或行爲ニ現ハルトキハ最
 嚴刑ニ處スルモノトス是意思ハ行爲其物ニ同シト云フニアラス國事
 犯企圖者ヲ罰スルニ適當ノ刑ニシテ之ヲ實際ニ遂ケタリトテ他ニ蒙
 ムラシムヘキ嚴刑ナキヲ以テナリ
 又非常ノ情慾誘惑ハ或ハ罪狀ヲ輕減スルコトアリ例ヘハ饑渴ニ迫テ
 他人ノ物ヲ竊盜スルハ貪慾又ハ驕奢ニ供スル爲メニ竊盜スル者ニ比
 スレハ輕減スヘキ情狀アリ又他人ヲ謀殺スル者ハ一時ノ怒ニ堪ヘス
 シテ殺害シタル者ヨリモ其刑罰ヲ嚴ニスル等犯罪者ノ年齢、教育及性

質又ハ再犯、時日、場所、數人共犯、其他諸般ノ情狀ノ如キハ即罪質ヲ輕重
 増減スルモノナリ
 前ニモ述ヘタル如ク刑罰ノ目的トスル所ハ未來ノ犯罪ヲ防クニ在ル
 モノナレハ諸種ノ犯罪中ニテハ社會ノ安寧及幸福ヲ害スルノ甚シキ
 モノヲ最嚴刑ニ處シ而シテ同兇惡ノ犯罪中ニテモ最犯シ易クシテ之
 ヲ防クコトノ難キモノヲ罰スルニ苛刑ヲ加フルヲ以テ至當トナスカ
 如シ故ニ手巾其他瑣細ノ物ヲ盜ミタル者ヲ罰スルニハ十年乃至十五
 年ノ流刑又ハ三年ノ禁錮ヲ以テシ他人ノ田畑ニ生スル穀物等ヲ盜ム
 カ如キハ前者ニ比スレハ其價格ハ數十倍ナルモ之ヲ罰スルニハ僅ニ
 七年ノ流刑又ハ二年ノ禁錮ヲ以テセリ昔者マン島ニ於テハ此規則ヲ
 適用シ他人ノ所有ニ屬スル一頭ノ牛又ハ驢等ヲ盜ムハ重罪ニ非スシ
 テ侵害ノ罪トセリ蓋竊ニ之ヲ盜去ルコト甚難キヲ以テナリ之ニ反シ

テ鶏豚等ヲ竊盜スルハ容易ニ其目的ヲ達シ得ルヲ以テ之ヲ重罪トシ
其犯罪者ヲ罰スル死刑ヲ以テスルノ極度ニ達セリ

要スルニ刑罰モ苛酷ニ過キ殊ニ之ヲ蒙ムラシムルニ其區別ヲ明ニセ
サレハ犯罪ヲ防キ人民ヲ懲戒スルノ效果ハ仁慈ヲ基トシ嚴酷其度ニ
適スルノ刑罰ニ如カサルモノトス彼著名ナルモンテスキュー氏ノ如
キハ能ク人類行爲ノ原因ヲ極メ犯罪ヲ防クニハ刑罰ヲ嚴酷ニスルヨ
リモ寧口之ヲ確實ナラシムルニ如カサルノ理ヲ明ニシタル人ト云フ
ヘシ氏ノ曰法律苛酷ニ過クルトキハ其執行ヲ妨クルモノニシテ非常
ニ殘虐ナル刑罰ヲ加フルトキハ社會ハ却テ爲害者ヲ無罪ナラシメン
コトヲ感スルモノナリト又マリーリ女皇ノ世ニ頒布シタル布告ノ序文
ニ曰國王ノ威嚴ハ苛酷ノ法律ヲ設ケテ人民ヲ惶怖セシムルヨリ寧口
配下ノ臣民カ君ヲ愛慕スルヨリ生スルヲ以テ君民同治ヲ保持スル爲

メニ設ケタル法律ハ嚴刑ヲ加フルモノヨリモ人民ハ却テ能ク之ヲ遵奉スルモノナリト故ニ若宗教ノ事務ニノミ沈醉シタル彼女皇ヲシテ政治上ノ事柄ニ就キ彼自身及國會ノ感覺ヲシテ斯ノ如クナラシメハ英國ノ爲メ大ナル幸福ヲ來シタルヤ固ヨリ疑ヲ容ル可カラス且殘虐ナル法律ハ其國ノ亂擾不穩又ハ其基礎ノ堅固ナラサルコトヲ表明スルノ徵候ナルハ之ヲ經驗ニ徵シテ知ルヲ得ヘシ彼羅馬王政時代ノ法律及十名ノ立法委員カ制定シタル十二銅表ノ如キハ其刑罰實ニ殘虐ヲ極メタルモ「ポリシア」ノ法律ハ羅馬府民ヲ死刑ニ處スルコトヲ罷メ總テ殘虐ナル刑罰ヲ廢シタルヲ以テ當時ノ共和政治ハ大ニ繁榮ヲ致シタルモ帝政ノ時代ニ至テ再苛酷ノ刑罰ヲ設ケ終ニ滅亾ヲ招キタル如キハ諸君ノ既ニ熟知セラル、所ナリ

加之ナラス性質ヲ異ニスル一切ノ犯罪ニ科スルニ同一ノ刑ヲ以テス

ルハ背理ノコトニシテ策ノ得タル者ニ非ラス殘虐ナル法律ハ之ヲ制定シ得ルノ權利アルヤ否ハ暫ク措キ立法者ノ無智ト行政權ノ虛弱ヲ證明スルモノニシテ是レ恰モ各困難ニ適應スル全般ノ救濟ヲ施スコトヲ知ラスシテ病者ニ賣藥ヲ進メルト一般ナリ斯ノ如キ法律ハ人民ヲ懲治スルヨリモ寧ロ之ヲ減込セシムルモノト云ハサル可カラス故ニモ苟刑罰ノ目的ヲ達セント欲セハ大小輕重犯罪ニ適應スル刑罰ヲ設ル可カラス良シヤ斯ノ如キハ理論上ニ止リ實際決シテ爲シ得可カラサルコトトスルモ賢明ナル立法者ハ重ナル區別ヲ設ケ國事犯罪者ニ科スヘキ刑罰ヲ以テ輕罪犯者ニ加フルカ如キコトヲ爲サ、ルヘシ要スルニ刑罰ノ性質及程度ニ就テ區別スルヲ得サルモノトセハ罪狀ニ就テモ亦區別ヲ要セサルナリ

第二編 犯罪ノ能力ヲ具備スル人

第一章 罪ヲ犯シ得ル人

前編ニ於テ犯罪及ヒ刑罰ノ性質ヲ述ヘタルヲ以テ是ヨリ罪ヲ犯シ得ル人即チ如何ナル人ハ法律ノ責ヲ免ル、ヲ得ス又如何ナル人ハ之ヲ免ル、ヲ得ルヤヲ講窮スヘシ

罪ヲ犯シ得ル人トハ之ヲ裏面ヨリ言ヘハ如何ナル人ハ法律ニ違反スル所爲アルモ其責ヲ免ル、ヤト云フト同一ニシテ元來一國ノ治下ニ浴スル人民ニシテ苟モ其國法ニ背反スル所行アルトキハ刑罰ノ責ヲ免ル、能ハサルカ一般ノ原則ナルヲ以テ罪ヲ犯シ得ル人ノ如何ヲ説クニハ其裏面即チ如何ナル人ハ刑罰ノ責ヲ免レ得ルヤノ所謂變則ヨリ説明スルヲ以テ便利ナリトス

法律ヲ以テ禁スル行爲アルモ之ヲ宥恕シテ其罪ヲ問ハサルノ理由種々アリト雖其歸着スル所ハ一ニシテ意思ノ欠乏即チ是ナリ凡人タル

Act
Will
は

ナ問ハス自ラ企圖セスシテ不意ニ好事ヲ爲シタリトテ其賞譽ヲ得ル能ハサルト均シク惡事ト雖不意ニ出タルトキハ其刑罰ヲ施ス能ハス故ニ善行ヲ賞スルモ惡事ヲ罰スルモ全ク行爲者意思ノ存否如何ニ在ルモノニシテ人爲法上充分ノ犯罪ト認ムルニハ必スヤ行爲ト意思^ろノ結合ナカル可カラス惡事ヲ爲サント企ル念慮ハ固ヨリ惡ムヘク嫌フヘキコトナリト雖苟モ之ヲ行爲ニ現サ、ル以上ハ其存在ヲ發見スルノ方法ナキヲ以テ惡意ヲ懷ク者ノ自白アル場合ヲ除クノ外ハ人爲法ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得サルナリ加之ナラス人ノ精神ニ立入りテ惡意ノ存在ヲ推定スルハ到底得可カラサルコトナルカ故ニ法律ヲ以テ刑罰ヲ施スニハ必ス惡意ノ存在行爲ニ現ハル、カ又ハ他ニ其存在ヲ證明スルモノアル場合ニ限ルモノトス斯ノ如ク惡意アルモ惡行ナク惡行アルモ惡意ナケレハ犯罪トナラサルヲ以テ人爲法上犯罪ヲ組織ス

~Outward
force

外部ノ勢
Will sits neuter

立意ノ中
Defect of Will

辨別力ノ
缺乏

ルニハ第一惡意次ニ其惡意ヲ表明スルノ行爲アルヲ必要トスルナ
リ

茲ニ意思ト行爲ノ二者分離シテ相結合セサル場合三アリ

第一 辨別力ノ缺乏セル時

辨別力ナキ者ハ是非善惡ノ選擇力ナシ既ニ選擇力ナキ以上ハ固ヨリ
故意ノ行爲アル能ハス故ニ辨別力ナキ者ハ意思ヲ以テ其行爲ヲ制ス
ル能ハサルナリ

第二 辨別力ヲ有シ意思ノ存在充分ナル人ト雖行爲ノ當時ニ於
テ意思ノ活動セサル時

是偶然或ハ無識ヨリ起ル場合ヲ指スモノニシテ行爲カ意思ニ背馳ス

ルニモ非ラス又結合スルニモ非ラスシテ意思全ク中立スル時ヲ云フ
第三 外部ノ勢力及強迫ニ依テ行爲ヲ抑制セラレタル時

Infancy
インフ
ンシー
幼年者

此場合ハ外部ヨリ強迫セラレ意思ニ背馳スル行爲ヲ指スモノニシテ
意思ノ存在スルモ外部ノ強迫ニ敵スル能ハサル時ヲ云フナリ
右第一ノ部類ニ屬スル者ハ幼年、白痴、瘋癲、及醉狂者等ニシテ災害不幸
等ニ遭遇シ若クハ無識ヨリシテ或ル事ヲ爲シタル者等ハ第二ノ部類
ニ屬シ他人ノ強迫又ハ必要等ヨリシテ犯罪ノ所爲アリタル者ハ即チ
第三ノ部類中ニ位スルモノトス
是ヨリ右ニ列舉シタル三部類ニ就テ順次之ヲ詳説スヘシ

第二章 辨別力ノ缺乏

第一節 幼年者

正邪善惡ノ辨別力ヲ有セサル小兒ハ決シテ刑法ノ責任ヲ負擔セシム
ルヲ得ス然レトモ凡何歳ニ達スレハ辨別力ヲ有スルモノトスルヤ否
ハ各國其制限ヲ異ニスルモノナレハ茲ニ一定スルヲ得ス羅馬法ノ如

キハ二十五歳以下ヲ三段ニ區別セリ

第一段 生レテヨリ七歳ニ至ル間

第二段 七歳以上十四歳ニ至ル間

第三段 十四歳以上二十五歳以下

右第二段ノ七歳以上十四歳以下ヲ又更ニ小分シテ七歳ヨリ十歳六ヶ月ト十歳七ヶ月ヨリ十四歳迄ノ區別ヲ設ケタリ第一段ノ生レテヨリ七歳ニ至ル迄ト第二段ノ上半部即チ七歳以上十歳六ヶ月ニ達スル間ハ犯罪ノ所爲アルモ刑罰ヲ科スル能ハスト雖十歳七ヶ月以上十四歳ニ至ル間ハ若シ辨別力ヲ具備スルコト判然タルトキハ刑罰ヲ科スルヲ得ルナリ然レトモ此場合ニ於テハ充分ノ酌量減刑ヲ用ヒサル可カラス第三段ノ十四歳以上ノ者ハ他ノ丁年者ト均シク如何ナル重刑ヲモ適用シ得ルモノニシテ死刑ニ處スルモ固ヨリ妨ケナキナリ

英國ノ法律ニテハ廿一歳未満ノ者カ普通ノ輕罪ヲ犯シタルトキ例ヘ
ハ道路橋梁等ノ修繕ヲ怠リ又ハ之ト同様ノ罪ヲ犯シ禁錮罰金等ノ刑
ニ處スヘキ者廿一歳未満ナレハ之ヲ免恕スルト雖モ公安妨害、暴動、歐
打、僞誓及詐僞犯等ノ如キハ廿一歳未満ノ者ト雖之ヲ罰スルモノトス
死刑ニ處スヘキ場合ニ於テハ更ラニ年齢ヲ嚴密ニ限リタルモノニテ
サキソン時代ノ法律ニ由レハ十二歳ノ者ヲ以テ他ノ丁年者ト同様ノ
刑罰ニ處シタリ十二歳ヨリ十四歳マテノ間ハ其人ノ辨別力ノ有無ニ
由テ或ハ處刑シ或ハ處刑セサルコトアリ是レ十二歳ヨリ十四歳マテ
ノ間ハ辨別力ノ存否判然セサルヲ以テナリ然レトモ十二歳以下ノ者
ハ故意ヲ以テ罪ヲ犯シタリト爲スヲ得ス又十四歳以後ノ者カ實際罪
ヲ犯シタル場合ニ於テ意ナクシテ之ヲ犯シタリト推定スルヲ得サル
モノナルヲ以テ或ハ處刑シ或ハ處刑セサルコトアルモノトス

年齢ニ關
セス辨別
力ノ如何
ニ依テ罪
ヲ決定ス

然リト雖エドワルド三世以降ハ斯ノ如ク年齢ノミヲ以テ罪ノ有無ヲ
決スルノ法律ヲ廢シ犯罪者ノ理會及ヒ辨別力ノ強弱如何ヲ標準トシテ
罪ノ有無ヲ定ムルモノトセリ如何トナレハ十一歳ノ中兒モ十四歳ノ
者ト均シク奸智ニ長スル者ナキヲ保ス可カラス又七歳以下ノ小兒ノ
如キハ天性上辨別力ヲ有セサルカ故ニ固ヨリ之ヲ以テ重罪犯者ト爲
スヲ得ス然レトモ或場合ニ於テハ八歳ノ小兒モ猶重罪犯者ト爲スコ
トアリ是十四歳以下ノ小兒ハ犯罪ノ資格ヲ有セサル者ト推定スルカ
一般ノ通則ナリト雖若シ裁判官或ハ陪審官ニ於テ善惡ノ辨別力ヲ有
スルモノト認ムルトキハ十四歳以下ノ者ト雖死刑ニ處シ得ルヲ以テ
ナリ現ニ十七世紀中放火犯ヲ以テ八歳ノ小兒ヲ死刑ニ處シタルコト
アリ其後又謀殺犯ヲ以テ十歳ノ童子ヲ死刑ニ處シタルコトモアリ何
レモ是非ノ辨別力ヲ有シ惡意ノ存在スルコトヲ判官ニ於テ認メタル

瘋癲
白痴
イヂボツト

Lunatic idiot

ニ依ルナリ要スルニ犯罪者ノ年齢ニ關セス實際惡意ノ存在スル場合ニ於テ之ヲ罰スル所以ノモノハ單ニ少年タルノ故ヲ以テ刑罰ヲ免レシムルトキハ少年ハ如何ナル惡事ヲ爲スモ其責ニ任セサルヲ以テ如何ナル惡事ヲモ爲シ得ヘシトノ思想ヲ一般ニ傳播セシメ社會ニ大害ヲ來スノ恐レアルヲ以テナリ然レトモ斯ノ如キ場合ニ於テハ必ラス惡意ノ存在シタルコトヲ充分ニ證明セサル可カラス而シテ十四歲以上二十一歲以下ノ者ハ前ニ述ヘタル變例ノ場合ヲ除クノ外ハ一般ニ犯罪ノ資格ヲ有スルモノトシ二十一歲以上ニ至レハ法律上年齡ニ關スル變例ヲ設ケサルナリ

第二節 瘋癲、白痴者

瘋癲、白痴者モ是非ノ辨別力ナキヲ以テ刑罰ノ責ヲ免ルモノナリ而シテ瘋癲者ニ適用スル法律規則ハ容易ニ之ヲ白痴者ニモ適用シ得ルヲ

以テ刑法上瘋癲、白痴者若シ犯罪ノ當時果シテ精神錯亂智覺ヲ失シタルトキハ常事犯國事犯ノ別ヲ問ハス總テ之ニ刑罰ヲ科スルヲ得サルモノトス又英國ノ慣習法ニ依レハ尋常ノ智覺ヲ有スル人重罪ヲ犯シタル後其罪狀告發前ニ於テ若シ精神錯亂スル等ノコトアルトキハ之ヲ告發スルヲ得サルモノトセリ蓋シ精神錯亂中ナレハ適當ノ答辨ヲ爲シ能ハサルヲ以テナリ又答辨ヲ附シタル後ニ發狂シタルトキハ之ヲ審問スルモ自ラ辨護シ能ハサルヲ以テ暫ク其審問ヲ中止スルモノトス若シ既ニ審問ヲ終ヘタル後其裁判言渡前ニ於テ精神錯亂スルトキハ其裁判言渡ヲ止メ既ニ判決ヲ受ケタルモ未ダ之ヲ執行セサル以前ナレハ其執行モ亦之ヲ中止スルモノトス是犯罪者ヲシテ若シ精神錯亂スル等ノコトナカラシメハ或ハ其裁判又ハ執行ヲ停止スルニ足ルノ證據ヲ提供シ得ルヤモ期シ難シト云フ理由ニ基クモノナリ

George

第三世ノ
法律

Henry

第八世ノ
布告

單ニ慣習法ノミナラス成文律モ亦右ノ精神ニ外ナラス^レギョーヂ第三
 世ノ三十九年及四十年ニ於テハ布告ヲ以テ更ニ瘋癲白痴者ニ關スル
 法律ヲ設ケ犯罪者若シ犯罪ノ後ニ於テ精神錯亂スル等ノコトアルトキハ
 陪審ヲシテ其實否ヲ審究セシメ陪審ニ於テ果シテ癡狂者ナリト認ム
 ルトキハ精神回復スル迄審問ヲ中止シ別室ニ留置スルモノトシ若シ又
 國事謀殺其他重罪犯者ヲ審問スルニ當リ該犯罪ノ當時精神錯亂シタ
 リトノ證據ヲ提供シ陪審ニ於テ無罪ノ判定ヲ下シタルトキハ陪審ヲシ
 テ犯罪ノ當時果シテ精神錯亂セシヤ且ツ精神錯亂ノ故ヲ以テ無罪ノ
 判定ヲ爲シタルヤ否ヲ證明セシメ實際精神錯亂ノ故ヲ以テ無罪ノ判
 定ヲ與ヘタルモノナル^ルハ判官ハ犯罪者ノ精神回復スル迄之ヲ別室
 ニ留置スルモノトセリ^スヘヌリー第八世ハ又別ニ法律ヲ設ケ國事犯者
 若シ犯罪後ニ於テ癡狂者トナルモ之ニ關セスシテ審問ヲ開キ尋常ノ

智覺ヲ有スル人ト同様死刑ニ處スルモノト定メタリト雖モ斯ノ如キ野蠻殘虐ノ法律ハ其後幾モナクシテ廢止セラレタリ以上述ヘタル處ニ依レハ癡狂者ハ其種類及ヒ程度ヲ問ハス總テ刑罰ノ責ヲ免カル、カ如シト雖モ決シテ然ラス半ハ精神ノ錯亂シタル者ハ其行爲ヨリ生スル刑罰ノ責任ヲ免カル、コト能ハス然モ半癡狂者ト全癡狂トヲ判然區畫シテ豫メ其程度ヲ定メ置クハ容易ニ爲シ得ヘキコトニ非ラサルヲ以テ斯ノ如キハ裁判官及ヒ陪審カ各事件ニ就テ決定スヘキモノニシテ一方ニ於テハ智覺不充分ナル者ニ普通ノ刑罰ヲ施シ他ノ一方ニ於テハ癡狂者ニ非ラサルモノヲシテ刑罰ノ責ヲ免レシムルカ如キ弊害ナカランコトヲ必要トスルナリ故ニ犯罪ノ當時人ヲ殺スノ所爲ハ法律ニ反スルコトヲ知ルモ精神錯亂ノ爲メ之ヲ殺シテ以テ或ル災害ヲ除キ或ハ公益ヲ來スト信シテ人ヲ殺害シタル者ハ其責ヲ免カル能ハス又

癡狂ノ爲メ事實ヲ誤リタル場合ニ於テモ若シ其事實タル果シテ現存
スルモノトセハ決シテ恕ス可カラサルモノナルトキハ均シク刑罰ノ
責ヲ免カル能ハス然モ之ニ反シテ事實現存スルモ恕スヘキ行爲ナル
トキハ其責ヲ免カル、モノトス

第三節

酔酊者「ドランカー」

英國ノ法律ハ任意ノ酔酊ヨリシテ一時智覺ヲ失シタル者ヲ以テ刑罰
ノ責任ヲ免レシムルヨリモ寧ロ之ヲ加重スルモノナリ「エドワード、コ
ーク」氏云ヘルアリ任意ノ酔酊者ハ其酔酊ノ故ヲ以テ刑罰ノ責ヲ免カ
ル、能ハス酔酊中ノ行爲ハ却テ其責ヲ重クスルモノナリト元來激烈
ナル流動物ヲ飲用シ及ヒ之ヲ濫用シテ其程度ヲ過ルト否トハ氣候ノ
異ナルニ隨テ各國其度ヲ異ニスル者ニシテ例へハ「那威」等ニ於テ血液
ノ循環ヲ能クスル爲メニ必要トスル飲酒ノ量ハ「伊太利」等ノ如キ暖國

ニ於テ精神ヲ錯亂セシムルニ足ルモノトス故ニモンテスキエー氏モ亦云ヘルアリ日耳曼人等ノ飲酒ハ其身体ノ必要ヨリ來ルモノナリト雖モ西班牙人ノ如キハ驕奢ノ爲メニ之ヲ飲ムモノナレハ西班牙伊太利等ニ於テハ醉上ノ行爲ヲ罰スルニハ日耳曼其他ノ北國ニ於ケルヨリモ一層嚴重ニセサル可カラスト希臘ニ於テ醉酩中罪ヲ犯シタル者ニ犯罪ニ對スル刑ト醉酩ニ對スル刑トヲ二重ニ科スル法律ヲ制定シタルハ蓋シ此ノ理ニ基クモノナラン羅馬法ノ如キ大ニ醉酩者ヲ惠ミタリト雖モ英國ノ法律ニテハ醉酩ノ故ヲ以テ刑罰ノ責ヲ免スルコトナシ其故ハ醉酩ニ托シテ刑罰ヲ免カル、弊ヲ來スノ恐レアリ且ツ實際醉酩上ノ犯罪ニセヨ醉酩ヲ以テ刑罰ヲ辭セントスルハ甚タ虛弱ナル辨解ナレハナリ

第二章 意思ノ不完全

Misfortune or chance.

偶然或ハ不幸

Ignorance Mistake

無識或ハ過誤

第一節

偶然或ハ不幸

第二種意思ノ缺乏ハ即チ不幸或ハ偶然ノ事ヨリシテ不圖法律ニ背反
 スル所行ヲ爲スモ意思ハ全ク中立シテ行爲ニ合同スルナク又之ニ背
 馳スルコトナキヲ以テ犯罪ノ一原素ヲ缺ク場合ヲ指スナリ凡ソ人相
 當ノ注意ヲ以テ不當ノ所行ヲ爲ス際不圖犯罪ノ結果ヲ生スルモ其刑
 罰ノ責ニ當ルコトナシト雖モ若シ人不正ノ所行(單ニ法禁ノ惡事ノミ
 ナラス固有ノ惡事ニテモ)ヲ爲スカ又ハ正當ノ所爲ナルモ相當ノ注意
 ナ用ヒサルヨリシテ不慮ノ結果ヲ來シ爲メニ他人ヲ殺傷シタルトキ
 ハ其不慮ノ結果ナリト云フヲ以テ刑罰ヲ免カル、能ハサルモノトス

第二節 無識或ハ過誤

無識或ハ過誤ヨリシテ正當ト信シテ爲シタル所行ノ不正ナル場合ニ
 於テハ行爲ト意思全ク各別ナルヲ以テ犯罪ヲ組織スルニ必要ナルニ

者ノ結合ナシ故ニ斯ノ如キ場合ニ於テハ刑罰ノ責ナキモノトス然レ
 刑罰ノ責ヲ免カル、ニハ必ラス事實ニ關スル無識或ハ過誤ニ限ル
 モノニテ法律ニ關スル場合ハ其責ヲ免カル、ヲ得ス例ヘハ竊盜又強
 盜ヲ殺サント欲シ誤テ自家ノ族人ヲ殺シタル如キハ事實ノ錯誤ナル
 ナ以テ刑罰ノ責ヲ免カル、ト雖モ追放サレタル者ハ之ヲ殺害スルノ
 權利ヲ有スルモノト信シテ追放サレタル人ヲ殺スカ如キハ其刑ヲ免
 カル、能ハス如何トナレハ苟モ國民タル以上ハ必ラス其國ノ法律ヲ
 知ラサル可カラス且ツ法律上之ヲ知ルモノト推測スルカ故ニ法律ニ
 關スル錯誤ヲ以テ免罪ノ辨解ト爲スヲ得サレハナリ

第三章 意思ノ缺乏

第三種ノ意思ノ缺乏ハ脅迫或ハ避ク可カラサルノ必要ヨリ起ル場合
 ナ指スモノニシテ外部ノ脅迫或ハ避ク可カラサル必要ノ爲メ止ムヲ

意思ノ缺
 乏

得ス自ラ欲セサル事ヲ爲スモノナレハ固ヨリ犯罪ノ要素タル行爲ト
意志ノ結合ナキヲ以テ刑罰ヲ科セサルナリ

外部ノ壓制ニ依テ已レノ欲スル處ト反對ノ所行ヲ爲ス場合數多アリ
被治者カ主治者ニ對スル如キハ卽チ其第一種ニシテ例ヘハ立法者カ
一ノ法律ヲ制定シテ宗教及ヒ道德ニ反スルノ行ヲ爲セト命スルトキハ
人民ハ假令ヒ各自ノ欲セサル事ニセヨ之ヲ爲サ、ル可カラス果シテ
然ラハ上帝ノ命令ニ背反スルモ主治者ノ命令ハ之ヲ遵奉セサル可カ
ラサルヤノ疑ナキニ非ラスト雖モ是ハ今茲ニ論スヘキコトニ非ラスト要
スルニ法律ノ脅迫ヲ受ケテ爲シタル所行ニ就テハ一切刑罰ヲ科スル
コトナシ一個人ノ關係ニ於ケルモ亦脅迫ヲ受ケテ爲シタル所行ニ就テ
刑罰ノ責ニ任セサル場合アリ例ヘハ子孫又ハ從僕カ其兩親又ハ主人
ノ命令脅迫ニ依テ犯罪ノ所行アリタルトキハ其命令又ハ脅迫ノ故ヲ以

テ子孫從僕ノ罪ヲ免スルコトナシト雖モ妻カ夫ノ脅迫ヲ受ケテ竊盜強
 盜其他ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ法律ハ夫ノ脅迫アルヲ以テ妻自
 己ノ意ニ出テタルモノニ非ラスト爲シ妻ノ罪ヲ問ハサルナリ英國ニ
 於テ殆ト一千年以前ヨリ此ノ原則ヲ適用シタルモノニテ西撒遜イナ王
 ノ法律中ニモ之ヲ發見スルナリ又歐州大陸北方ニ於テハ此ノ原則ヲ
 一層擴張シテ婦人ノ男子ト共ニ罪ヲ犯シ或ハ從僕カ自由人ト共ニ罪
 ヲ犯シタル場合ニ迄之ヲ適用シ刑罰ノ責ニ任スヘキ者ハ男子及ヒ自
 由人ニ限り婦人及ヒ從僕ハ一切其責ニ任セサルモノト定メタル國ア
 リ然モ英國ニ於テハ從僕ハ皆其主人ノ代理者ト見做スカ故ニ從僕タ
 ルノ故ヲ以テ罪ヲ免スルコトナシ加之妻ニ關シテモ謀殺其他重大ナル
 犯罪ノ場合ニハ右ノ原則ニ變例ヲ設ケ刑罰ヲ科スルモノトス國事犯
 ノ如キハ最モ重大ナル犯罪ナルニ依リ妻タルノ辨解夫脅迫ノ推測ヲ

以テ其罪ヲ免スルヲ得ス蓋シ國事犯タル最モ惡ムヘク最モ恐ルヘキ
結果ヲ來スモノナルカ故ニ此罪ヲ犯ス如キ夫ハ既ニ自ラ社會結合ノ
神聖ナル關係ヲ破リタル者ナレハ妻ヲ服從セシムルノ權利ヲ有セサ
ルコト固ヨリ言ヲ俟タス故ニ此場合ニ於テハ夫脅迫ノ推測ハ自ラ消
滅スルナリ其他輕罪中ニモ妻ニ刑罰ヲ科スルノ變例アリ即チ密賣淫
ニ供スル家屋ヲ有スルトキハ妻モ其夫ト共ニ刑罰ノ責ニ任スルモノ
トス如何トナレハ斯ノ如キ犯罪ハ主トシテ一家ノ經濟庶務ニ關スル
モノニシテ妻ノ管理ニ屬スルカ故ニ法律ハ妻ノ隱謀ニ出ルモノト推
測シ夫ノ脅迫モナク又夫ノ關セサル場合ニ於テモ婦人一個ノ資格ニ
テ刑罰ノ責ニ任スルナリ
第二種ノ脅迫又ハ必要トハ英國法律ノ所謂威嚇^{スリツ}及ヒ脅迫^{メナセス}ニシテ外部
ヨリ威迫シテ即死又ハ其他身體ニ損害ヲ來スノ恐怖ヲ生セシメタル

トキノ行爲ニ就テハ刑罰ノ責ニ任スルコトナシ故ニ暴動或ハ戰爭等ノ時ニ於テ敵兵又ハ暴徒ノ爲メニ脅迫セラレテ國事犯等ノ行爲アルモ其罪ヲ問ハサルナリ然モ威嚇脅迫ハ各種ノ犯罪ヲ宥免スルモノニ非ラス例ヘハ甲者アリ乙者ヨリ激烈ナル攻撃ヲ蒙ムリ傍ニ在ル丙者ヲ殺害スルニ非ラサレハ決シテ自己ノ死ヲ免カル、ノ手段ナキ場合ニ於テ萬止ムヲ得ス丙者ヲ殺害シタルニセヨ甲者ハ謀殺ノ罪ヲ免カル、能ハス如何トナレハ斯ノ如キ場合ニ在テハ丙者ヲ殺害スルヨリモ寧ロ甲者自ラ死セサル可カラサレハナリ之ニ反シテ攻撃者タル乙ヲ殺害スルハ所謂正當防禦ノ理由ニ依リ甲者ハ刑罰ヲ受クルコトナシ要スルニ刑罰ノ責任ヲ免カル、ニハ即死又ハ身体ニ重大ナル損害ヲ來スノ恐怖ヲ生スル脅迫ノ場合ニ限ルモノトス其故ハ單ニ家屋ヲ燒失セラレ財産ヲ掠奪セラル、等ノ恐ハ未タ以テ刑罰ノ責ヲ免カル、ニ

足ラス且ツ正當ノ理由アル恐怖ナラサル可カラス
玆ニ又外部ヨリノ脅迫トハ全ク異ナル必要アリ蓋シ道理及ヒ追懷ヨ
リシテ斯ク爲サ、ル可カラスト意思ヲ抑壓スル場合ヲ指スモノニシ
テ例ヘハ目前ニ横ハルニ害ノ中必ラス其一ヲ擇テ害ノ少ナルモノヲ
爲サ、ルヲ得サルカ如キ必要アリ斯ノ如キ場合ニ於テハ意思ノ發動
決シテ自由ナリト云フヲ得ス自働ヨリモ寧ロ他働ナリ故ニ法律ノ命
令ニ依リ國事犯罪者ヲ捕ヘ或ハ暴徒等ヲ解散セシムルニ當リ抵抗ス
ル者アリ之ヲ毆打殺傷スルニ非ラサレハ其目的ヲ達スル能ハサルト
キ之ヲ毆打殺傷スルカ如キハ即チ此ノ類ノ必要ニシテ社會ノ安寧ヲ
維持シ公衆ノ利益ヲ保護スル爲メ人ヲ殺害スルモ刑罰ノ責ヲ受クル
ヲナシ

他ニ又必要ニ關シ法律諸大家ノ思想ヲ喚起シタル一大疑問アリ即チ

飢寒ニ迫リ萬止ムヲ得ス他人ノ衣食ヲ竊取シタル場合ノ如キハ固ト切迫ノ必要ヨリ出テタルモノナレハ刑法ノ制裁ヲ免レ得ルヤ否ノ問題是ナリグロチアス氏プツフエンドルフ氏其他外國ノ法律家中ニハ刑法ノ制裁ヲ免レ得ヘシト主張スル人アリ而シテ其理由トスル處ハ非常ノ飢寒ニ迫リタル如キ場合ニ於テハ社會默諾ニ依リ財產共通ノ主義ヲ發生スルモノナリト云フニ過キス斯ノ如キハ固ト羅馬法ノ思想ヨリ來リタルモノニテ所謂無根據ノ說ナレト英國ニ於テハ曾テ必要ヨリ出テタル竊盜ナリトテ刑罰ノ責ヲ免カルハ、ナシ抑モ法律ハ人ノ生命財產ヲ保護スル爲メニ設ケタルモノナルニ切迫ノ必要ニ逢ハハ他人ノ財產ヲ掠奪スルモ妨ケナシトセハ社會ハ一日モ財產保護ノ安全ヲ得ル能ハス殊ニ英國ニ於テ斯ノ如キ特典アリトセハ不適法モ亦甚シト云ハサルヲ得ス如何トナレハ英國ニ於テハ貧民救助法ノ完

度
犯罪ノ程

°Degree of guilt.

全ナルモノアルヲ以テ實際他人ノ衣食ヲ掠奪スルニ非ラサレハ己ノ
 生命ヲ維持スル能ハサルカ如キ必要アルコトナシ故ニブツフエンド
 ルフ氏等ノ説ハ其シヤ他國ニ於テハ多少ノ勢力ヲ有スルニモセヨ英
 國ニ至レハ忽チ其効ヲ失スルモノト云ハサル可カラズ
 以上ハ智覺ノ不完全ナルヨリシテ犯罪ノ資格ヲ具備セサル者ヲ擧ケ
 タルモノナルカ猶ホ他ニ自分カ最上完全ノ地位ヲ占ムルヨリシテ法
 律上犯罪ノ資格ナキモノト推定スル者アリ主權者ノ如キハ即チ帝王
 タルノ特權ヲ有スルニ依リ法律強制力ノ下ニ在ラサルカ故ニ犯罪ノ
 資格ヲ具備セサルモノトス

第三編 犯罪ノ程度

前編ニ於テ既ニ如何ナル人ハ犯罪ノ資格ヲ具備セサルヤ否ヤヲ述ヘ
 タルヲ以テ今本編ニ於テハ犯罪ノ資格ヲ具備スル人ニ就キ正犯從犯

*1st degree.
*2nd degree.

Principal 正犯

第一章 正犯

等ノ如キ其罪ノ輕重程度ノ如何ヲ説カント欲ス
 正犯中ニ第一程度第二程度ノ區別アリ第一程度ノ正犯トハ犯罪ノ主
 本者ヲ云ヒ第二程度ノ正犯トハ其場所ニ現在シテ犯罪ヲ幫助スル人
 ナ云フナリ然レトモ此ノ犯罪ノ場所ニ現在シテ幫助スル者ト云フハ
 必スシモ第一程度正犯者ノ視力ノ及フ處音聲ノ聞ヘル處ニ居ルヲ要
 セス例ヘハ謀殺罪ヲ犯ス場合ニ力ヲ以テ人ヲ殺害スル者ヲ第一度ノ
 正犯トシ門外其他便宜ノ場處ニ在テ外人ノ來ルヤ否ヤヲ視察スル者
 ナ第二度ノ正犯ト爲スカ如シ茲ニ又第二程度ノ正犯ニ似テ非ナルモ
 ノアリ例ヘハ毒藥ヲ以テ人ヲ謀殺スル場合ニ毒藥ヲ調製シ之ヲ毒殺
 セント欲スル人ノ處ニ置キ又ハ他人ヲ誘導シテ毒藥ヲ飲マシメント
 企テルモ實際被害者ノ其毒藥ヲ飲ム時ヲ知ラス且ツ其場處ニ現在セ

サレハ第二度ノ正犯者タルカ如シト雖モ決シテ然ラス其陷穽係蹄ヲ設ケ或ハ猛獸ヲ放チ癡狂者ヲ激動セシメテ以テ他人ヲ謀殺スルカ如キモ亦然リ統テ斯ノ如キハ第一度ノ正犯トス如何トナレハ毒藥係蹄猛獸及ヒ癡狂者等ハ固ヨリ人ヲ殺害スルノ器械タルニ過キサレハ正犯トナスヲ得サルヲ以テ之ヲ使用シタル人ハ從犯ニ非ラス要スルニ右等ノ所爲アル者ハ正犯ニ系ラサレハ必ラス從犯タルヲ免レサルカ故ニ既ニ從犯ニ非ラサル以上ハ正犯タルコト固チリ言テ俟タス果シテ正犯ナリトセハ其程度ハ第一ナルヤ將第二ナルカト云フニ右等ノ場合ニ於テハ他ニ幫助ヲ受クヘキ犯罪者ナキヲ以テ第一度ノ正犯ト爲サ、ルヲ得ス夫レ斯ノ如ク法律上正犯ヲ區別シテ第一第二度ト爲スト雖モ之ニ蒙ムラシムル刑罰ハ二者共ニ同一ニシテ毫モ異ナル處ナシ然レトモ特ニ布告ヲ以テ刑ノ區別ヲ設ケタルモノハ此限ニ非ラ

從犯

Accessory.

Offence which admit accessory.

無從犯ノ有

サルナリ

第二章 從犯

從犯トハ主トシテ働ク者ニモ非ラス又犯罪ノ當時其場所ニ現在スル者ニモ非ラス唯其犯罪ノ前後ニ在テ正犯ヲ幫助スル者ヲ云フ今茲ニ從犯ノ程度性質ヲ論スルニ當リ第一ニ犯罪ノ種類ニ依リテハ正犯ノミニシテ從犯ノナキモノヲ述ヘ次ニ事實前ノ從犯第三ニ事實後ノ從犯最後ニ正從ヲ區別スルノ理由及ヒ之ヲ處分スル方法ノ如何ヲ設クヘシ

第一節 從犯ノ有無

犯罪ノ種類ニ依リ從犯ノナキモノアリ國事犯ノ如キハ其一例ニシテ通常ノ重罪ニテハ從犯トナルモノモ國事犯ノ場合ニ於テハ均シク正犯ト爲スモノトス如何トナレハ國事犯ノ性質タル最モ嫌フ可ク惡ム

ヘキモノナレハナリ且ツ國事犯ヲ企テ國王ヲ殺害セント欲スルカ如キハ單ニ企圖スルノミヲ以テ正犯トシ他人ヲ教唆幫助スル如キモ國事犯ノ場合ニ於テハ實際ノ犯罪者ト均シク正犯ト爲ス蓋シ國事犯ノ意思ナケレハ之ヲ幫助教唆スルノ必要ナキヲ以テナリ故ニ國事犯ノ場合ニハ事實前ノ從犯ナシ然リト雖モ國事犯モ其種類ニ依リ例ヘハ國璽ヲ僞造スルカ如キハ單ニ他人ニ之ヲ僞造セントテ教唆シタリトテ實際之ヲ僞造セサル限ハ國事犯ト爲スヲ得ス如何トナレハ斯ノ如キ場合ニ於テ國事犯罪ヲ組織スルモノト僞造スルノ行爲ニシテ企圖ニ非ラサレハナリ謀殺其他ノ重罪ニハ固ヨリ從犯アリト雖モ豫メ謀ラスシテ不意ニ犯シタル場合ニハ事實前ノ從犯アルトナシ其他事實ノ前後共ニ從犯ナクシテ苟モ犯罪者タル以上ハ正犯ナル場合アリ重罪ニテハ國事犯輕罪ニテハ侵害犯ノ如キハ假令ヒ其基ク處ノ理由ハ

事實前ノ
從犯

Accessory before
the fact.

異ナルニセヨ共ニ正從ヲ區別スルヲナシ

第二節 事實前ノ從犯

「マツシユールヘール」氏曰ク事實前ノ從犯トハ犯罪ノ當時其場所ニ現在セサルモ犯罪ヲ教唆シ命令シ或ハ商議スル如キ者ヲ云フト氏ノ説ニ依レハ事實前ノ從犯タルニハ犯罪ノ場所ニ現在セサルヲ必要トス其故ハ若シ教唆者等犯罪ノ場所ニ現在シタリトセハ彼等ハ固ヨリ正犯タルヲ免レス例ヘハ甲者乙者ニ丙者ヲ殺害センヲ勸メ乙者ハ甲者不在ノ場所ニ於テ丙者ヲ殺害シタリトセハ乙者ハ謀殺正犯ニシテ甲者ハ其從犯ナリ而シテ甲者カ乙者ニ命令シタル時ニ於テ被害者タル丙ハ不在トスルモ此原則ハ毫モ變スル處ナシ例ヘハ甲男乙女ト私通シ乙女懷妊シタルニ依リ出産前甲ハ私生ノ子出産シタル時ハ直ニ之ヲ殺害センヲ乙ニ命シタルヨリ出産後乙ハ之ヲ殺害シタル如キ場

合ニ於テモ甲ハ卽チ謀殺從犯ナリトス又第三者ヲ經テ重罪犯ヲ教唆
スルモ教唆者ハ卽チ事實前ノ從犯トシ其他總テ他人ヲ教唆シテ不正
ノ所行ヲ爲サシメタル者ハ其不正ナル行爲ヨリ生スル結果ニ就テハ
從犯タルヲ免レス然レトモ被教唆者ヲ教唆者ノ命令シタルモノトハ
全ク異ナル罪ヲ犯シタル場合ハ其全ク異ナル犯罪ニ就テハ從犯ニ非
ス例ヘハ甲者乙者ニ丙者ヲ強盜センコトヲ教唆シタルヨリ乙者ハ丙者
ヲ強盜セントシタル際丙者抵抗セシヲ以テ乙者カ丙者ヲ殺害シタ
ル場合ニハ乙者ハ謀殺正犯ニシテ甲者ハ其從犯ナリト雖モ甲者カ乙
者ニ丙者ノ家屋ニ放火センコトヲ命令シ乙者之ニ放火スル際丙者ヲ
強盜シタルカ如キ場合ニ於テハ甲者ハ放火罪ノ從犯ナルモ強盜罪ノ
從犯ニ非ラス如何トナレハ二罪全ク異ナルモノニシテ放火犯ヨリ生
スル性質ノ結果ニ非サレハナリ然レトモ甲者ハ乙者ニ丙者ヲ毒殺セ

Accessory after
the fact.

事實後ノ
從犯

ヨト命シタルニ乙者ハ毒藥ヲ用ヒスシテ丙者ヲ銃殺シタルカ如キ場
合ニ於テハ其殺害ノ方法ハ命令ニ異ナル處アルモ目的トスル
處ハ殺害ニ在ルヲ以テ甲者ハ從犯タルヲ免レサルナリ

第三節 事實後ノ從犯

事實後ノ從犯トハ重罪犯者タルコトヲ知テ之ヲ隱蔽撫慰或ハ補佐ス
ル者ヲ云フ故ニ事實後ノ從犯タルニハ第一ニ重罪犯ノアリタルコト
及ヒ其犯罪者ナルコトヲ熟知シ第二ニハ其情ヲ知テ之ヲ隱蔽撫慰或
ハ補佐シタルコトヲ必要トス概言スレハ總テ犯罪者ヲ補佐シテ逮捕
審問又ハ刑罰ヲ逃レシメタル者ハ從犯ト爲ス例ヘハ追手ヲ逃レシム
ル爲メ犯罪者ニ軍馬ヲ貸與シ或ハ腕力ヲ以テ追手ニ抵抗シ其他監獄
ヲ破ルニ足ル器械等ヲ犯罪者ニ送り或ハ犯罪者ヲ逃凶シムル爲メ典
獄ニ賄賂ヲ贈ル等ノ所爲ハ皆從犯トス然レトモ獄中ニ在ル犯罪者ニ

衣食其他必要品ヲ給與スルハ犯罪ニ非ス如何トナレハ若シ斯ノ如キ所爲ヲ罰スルトキハ罪囚ヲ補佐シテ法律ノ報讐ヲ逃レシメ公安ヲ妨害スルニ至レハナリ又贓物ナルコトヲ知テ之ヲ購求或ハ受領スルモ從犯ニ非ラサルカ故ニ慣習法ニテハ之ヲ輕罪トシ竊盜從犯トハ爲サハルナリ其故ハ單ニ物品ヲ受領シタル迄ニテ犯罪者ヲ受領シタルニ非ラサレハナリ然レトモゾーヨーチ第四世七八年ノ布告ヲ以テ贓物ヲ受領シタル者ハ事實後ノ從犯又ハ正犯トシ徒刑或ハ禁錮ニ處シ若シ男子ナレハ笞刑ヲ附知スルモノトセリ

凡重罪犯ハ他ヨリ幫助ヲ與ヘル時ニ於テ既ニ完結セサレハ其幫助者ヲ從犯ト爲スヲ得ス故ニ甲者カ乙者ニ重傷ヲ負ハシメタル場合ニ於テ乙者ノ負傷後其死去前ニ丙者アリテ該犯罪者タル甲ヲ幫助隱匿スルモ丙者ハ殺人罪ノ從犯ニ非ス蓋負傷後死去スルニ至ル間ハ毫モ犯

正從犯
區別スル
理由

How accessories are to be treated,
considered distinct from principals

罪ノ所爲ナケレハナリ然レトモ犯罪ノ既ニ完結シタル以上ハ最近ノ親族ト雖モ犯罪者ヲ幫助隱匿スルヲ得サルヲ以テ父子兄弟主從ノ間相互ニ犯罪者ヲ隱匿シ夫カ其妻ノ犯罪ヲ隱蔽スルカ如キハ皆事實後ノ從犯トス然リト雖モ妻カ其夫ノ犯罪ヲ隱匿シタル場合ハ從犯ト爲スヲ得ス如何トナレハ妻ノ所爲タル夫ノ脅迫ニ出テタルモノト法律上推測スルヲ以テナリ故ニ有夫婦ハ必スシモ其夫ノ犯罪ヲ發露スルヲ要セス

第四節 正從犯ヲ區別スルノ理由及ヒ其處分如何

正犯ト從犯トヲ區別シ其之ヲ處分スル方法如何ト云フニ「ゴシツク」憲法ヨリ假來シタル古代法ノ通則ニ依レハ從犯ハ其正犯ト同一ノ刑罰ヲ受クヘキモノトシ正犯ヲ死刑ニ處スルトキハ其從犯モ亦之ヲ死刑ニ處セリ雅典ノ法律ニテモ從犯ハ正犯ト同刑ニ處シ英國ニ於テモ事

實前ノ從犯ハ正犯ト同刑ニ處スルコトヲヅキクトリア皇十一十二年ノ布告ヲ以テ定メタリ斯ノ如ク正犯從犯共ニ同刑ニ處スルモノトセハ殊更ニ正從ノ區別ヲ設クルノ必要ナキカ如シト雖モ其之ヲ區別スル所以ハ左ノ理由ニ基クモノトス

第一 犯罪ノ性質及ヒ名稱ヲ區別シ被告人ヲシテ辯護ノ方法ヲ知ラシムル爲メ例ハハ實際強盜ノ罪ヲ犯スト強盜ヲ隱匿スルノ罪トハ全ク相異ナルヲ以テナリ

第二 事實前ノ從犯ハ正犯ト同刑ニ處スルト雖モ事實後ノ從犯ハ正犯ヨリ輕キ刑ニ處スレハナリ

第三 以前ニ在テハ少クトモ正犯ト從犯トハ同時ニ審問セサル可カラサルモノトシ通例正犯ヲ審問シタル後ニ非サレハ從犯ヲ吟味スルヲ得サリシカ故ナリ

第四

犯罪者ヲ待遇隱匿シタルコトニ就テ免訴ニナルモ犯罪ノ免
 訴ニ非ラサルヲ以テ從犯ノ告訴ヲ受ケテ免訴ニナリタル人
 ハ再ヒ正犯トシテ起訴スルヲ得ルト雖モ以前ニ在テハ正犯
 ノ告訴ヲ受ケタル人ヲ再ヒ事實前ノ從犯トシテ告訴ノ出來
 ルヤ否ニ就テハ頗ル疑團ヲ抱キ正犯ト事實前ノ從犯トハ密
 着ノ關係アルヲ以テ事實前ノ從犯ニ關シ免訴トナリタル者
 ハ正犯ニ就テモ免訴セラレタルモノトセリ然レトモ斯ノ如
 キ疑團ハ今日ニ於テハ既ニ冰解シタルモノト云ハサルヲ得
 ス如何トナレハ正犯ト從犯トハ全ク其性質ヲ異ニスルヲ以
 テ正犯ノ免訴ヲ受ケタル人ト雖モ再ヒ事實後ノ從犯トシテ
 告訴シ得レハナリ

正犯ト事實前ノ從犯ハ同刑ニ處スルニモ拘ハラス法律上正犯從犯ノ

類犯罪ノ種

Offences against the person

人ニ對スル犯罪

區別ヲ設ケタルハ即チ以上ノ理由存スルヲ以テナリ

第四編 犯罪ノ種類

本編ニ於テハ犯罪ノ種類及ヒ其之ニ適用スヘキ刑罰ニ就キ論述スヘシ然レトモ犯罪ノ種類ハ其數夥多ナルヲ以テ先ツ最初ニ人ニ對スル犯罪次ニ財産ニ對スル犯罪ヲ説キ然ル後公權即チ政府ニ對スル犯罪ニ論及セント欲スルナリ

第壹章 人ニ對スル犯罪

一個人及ヒ一個人ノ財産ニ對スル犯罪ハ其影響スル處單ニ犯罪ノ目的タル人又ハ財産ニ止マルモノトセハ至ク私犯ノ部ニ屬スルヲ以テ被害者ノ損失ヲ賠償スルノミニテ足レリト雖モ今本章ニ於テ論スル處ノ犯罪ハ其害ノ及フ處單ニ犯罪ノ目的タル人又ハ財産ニ止マラス其故ハ第一自然法ヲ侵サスシテ一個人又ハ一個人ノ財産ニ對スル罪

英國刑法

五十九

チ犯スコト能ハス第二ハ一個人又ハ一個人ノ財産ニ對スル犯罪ハ常ニ公安妨害ヲ抱括シ第三ニ惡例ヲ遺シテ社會ヲ紊亂スルノ恐レアリ
斯ノ如キ理由ノ存スルヲ以テ被害者ニ對スル賠償ノ他ニ政府自ラ原告ノ地位ニ立テ爲害者ニ刑罰ヲ加ユルモノトス蓋英國ニ於テハ其憲法ヲ以テ法律執行ノ權力ハ全ク主權者ニ委任スレハナリ昔者ゴシツク憲法ニテ犯罪者ヲ罰スルニ第一被害者ニ對スル罪第二主權者ノ命令即チ法律ニ背反スル罪第三社會公衆ニ惡例ヲ示シタル罪トシテ三重ノ刑罰ヲ蒙ムラシメタル如キハ即チ右ノ理由ニ基クモノナリ
一個人ニ對スル犯罪中ニ最モ重大ナルモノハ上帝ノ賜物タル人類ノ生命ヲ剝奪スルコトニシテ何人タルヲ問ハス上帝若クハ法律ノ命令スル場合ヲ除クノ外決シテ他人ハ勿論自己ノ生命ヲモ剝奪スル能ハサルモノトス故ニ本章ニ於テハ第一ニ殺人罪ヲ講究セント欲スルナ

害 正當ノ殺
Justifiable
homicide

然レ凡人ノ生命ヲ剝奪スル所爲ハ皆犯罪ナリト云フニ非ス時ト場合トニ依リ法律上無罪トナルコトアリ或ハ謀殺故殺ノ罪ヲ免レサルコトアリ而シテ法律上罪トナラサル場合ニハ正當殺害^レヂヤスチフワイエブル、ホミサイド^レ宥怒スヘキ殺害^レエキスキュースエブル、ホミサイドノ二種アルヲ以テ正當殺害ヨリ順次ニ之ヲ論説スヘシ

第一節 正當ノ殺害

正當殺害ニ數種アリ其第一官吏カ其職務上犯罪者ヲ死刑ニ處スルカ如キハ法律ノ命令ニ出タル所爲ナルヲ以テ固ヨリ正當ナリトス然レトモ正當ノ殺害タルニハ必ス法律ノ命令ヲ要スルカ故ニ如何ナル重罪犯者ト雖モ法律ノ命令ヲ待タス漫ニ之ヲ殺害スルトキハ謀殺ヲ以テ論スルモノニシテ例ヘハ法律上職權ヲ有セサル判官カ死刑ノ宣告

ナ爲シ之ヲ執行セシメタル如キ場合ニ於テ判官ハ謀殺犯者タルヲ免
 ル、ヲ得スコノ故ニ「サーマツシユ」ハ「ヘール」ハ「コロムエル」政府ノ當時
 民事裁判所ノ判官ト成リ財産其他民事上ノ争訟ヲ裁判スルコトハ承
 諾セリト雖モ刑事法廳ニ立テ犯罪者ヲ審問スルコトヲ拒絶セリ蓋僭
 奪者コロムウエルカ生殺與奪ノ權ヲ掌握スルコトニ就テハ大ニ反對
 ノ意見ヲ有シタレハナリ抑モ財産ヲ保護スルモ犯罪者ヲ罰スルモ均
 シク社會ノ安寧ヲ維持スル爲メナルニ一方ハ承諾シ他ノ一方ハ拒絶
 スル如キ區別ヲ設クルハ頗ル難事ナリト雖モ若シ斯ノ如キ場合ニ與
 ヘタル宣告ヲ以テ正當ナルモノトセハ相當官吏ヲシテ之ヲ執行セシ
 メサル可カラズ相當官吏ノ執行ハ固ヨリ法律ノ命令ニ出ルモノナレ
 ハ正當ノ殺害ト成リ若シ法律ノ命令ヲ俟タスシテ殺害スルトキハ裁
 判官ト雖トモ謀殺者タルヲ免レサレハナリ其他執行官等若シ絞罪ノ

五當錄
第三節

第二種ノ
正當殺害

Riot Act

宣告ヲ受ケタル者ヲ斬首シ斬首ノ宣告ヲ受ケタル人ヲ絞首スルトキハ彼輩ハ即チ謀殺犯タルヲ免レス如何トナレハ法律ノ命令ヲ遵奉シテ初メテ正當ノ殺害トナルニ其命令ニ違背シ自己ノ判断ヲ以テ處刑ノ方法ヲ變スルヲ以テナリ

第二、左ノ場合ニ於ケル如キ公益ヲ保護スル爲メ人ヲ殺害スルモノハ正當ノ所爲トシ其罪ヲ問ハス

一、官吏等カ民事ノ場合ニ於テ其職務ヲ執行スル爲メ被告人ヲ逮捕シ又ハ逮捕セント企ルニ當リ被告人之ニ抗抵スルヲ以テ終ニ之ヲ殺害シタルトキ

二、官吏等カ一揆暴徒ノ集合スルヲ解散セシムル爲メ暴徒中ノ一二名ヲ殺害スルカ如キハ慣習法並ニ成文律上共ニ其罪ヲ問ハス(第一世デヨーチ皇帝第一年ノ暴徒鎮壓條例)

三、典獄又ハ其他ノ官吏囚徒ノ攻撃ヲ受ケ之ヲ防禦スル爲メ囚徒ヲ

殺害シタル場合

四、官吏等其職務上重罪犯者或ハ他人ニ重傷ヲ負ハセタル者ヲ逮捕

シ又ハ逮捕セント企ルニ當リ犯罪者之ヲ知テ逃亡スルトキ追跡

シテ之ヲ殺害シタル場合

五、人民カ現在右ニ記載スル如キ犯罪者ヲ目撃シ之ヲ逮捕シ又ハ逮

捕セント企ル時犯罪者抗抵スルヲ以テ終ニ之ヲ殺害シタル場合

然リト雖モ以上列舉スル場合ニ於テハ皆犯罪者ヲ殺害スルノ必要即

チ殺害スルヨリ他ニ其目的ヲ達シ得ル手段ナキヲ證明セサル可カラ

ス故ニ斯ノ如ク必要ナケレハ正當ノ殺害トハナラサルナリ

第三種ノ正當殺害ハ殘虐非道ノ犯罪ヲ防ク爲メ他人ヲ殺害スル場合

ニシテ自然法ニ依ルモ又ブラクトン以降今日ニ至ル英國ノ法律ニ就

第三種ノ正當殺害

五當録
第二冊

1867

は Twelve tables

ろ Athens

テ視ルモ是等ハ皆正當ノ殺害トセリ今茲ニ一二ノ例ヲ擧ケハ強盜謀
 殺或ハ夜中家屋ヲ破壊セント企ル者アルニ臨ミ其強盜或ハ謀殺セラ
 レントシタル人、家屋ノ所有主、其從僕又ハ其場所ニ現在スル者、防禦ノ
 爲メ之ヲ殺害スルモ其罪ヲ問ハサルカ如キ是レナリ然レトモ腕力ヲ
 用ヒスシテ他人ノ懷中ヲ盜取リ或ハ白晝他人ノ家屋ヲ破リタル者ヲ
 殺害スル如キハ強盜謀殺又ハ放火スル等ノ意ヲ以テシタル場合ニ非
 ラサレハ正當ノ殺害ト爲スヲ得ス猶太ノ法律ノ如キモ竊盜ヲ罰スル
 ニ曾テ死刑ヲ以テシタルコトナク單ニ夜中家屋ヲ破壊スル者ヲ殺害
 シタル場合ノミチ正當ノ殺害ト爲シ白晝家屋ヲ破ル者ヲ殺害スルカ
 如キ所爲ハ皆相當ノ刑ニ處セリ

ろ
 雅典ニ於テモ夜中ノ竊盜ヲ殺害スルノ所爲ハ正當トシ羅馬十二銅表
 ノ如キハ夜中ノ竊盜ハ勿論白晝ト雖モ兇器等ヲ所持スルトキハ之ヲ

英國刑法

第四種ノ
正當殺害ノ

殺害スルモ其罪ヲ問ハサルモノトセリ且羅馬法ニ依レハ自己又ハ親族ノ貞節ヲ防禦スル爲メ爲害者ヲ殺害スルハ正當ノ所爲トナシセル
テン氏ノ説ニ依レハ猶太法ノ如キモ亦然リトセリ英國ノ法律ニ就テ
視ルモ婦人カ他人ノ爲メニ強姦セラレントスルトキ防禦ノ爲メ之ヲ
殺害シ父或ハ夫カ其女又ハ妻ノ強姦セラレントスルヲ防ク爲メ爲害
者ヲ殺害スルカ如キハ皆正當ノ殺害ト爲スト雖モ承諾上姦通ノ場合
ニ姦夫ヲ殺害スルノ所爲ハ正當トナスヲ得サルモノトス
茲ニ又他ノ正當殺害アリ例ヘハ二人ノ沈溺者各其死ヲ免レンカ爲メ
互ニ一片ノ板纜ニ一人ヲ支ユルニ足ル片板ヲ爭ヒ遂ニ一人ヲ溺死セ
シムルカ如キ場合ハ自衛ノ原則ニ基キ他ノ生存者一人ハ法律ヲ以テ
罰スル能ハス米國裁判所ノ判決例ニ依レハ航海中他ノ船客ヲ助命ス
ル爲メ一人ノ船客ヲ海中ニ投スルモ其所爲ハ罰ス可カラサルモノト

宥恕スヘキ殺害
excusable homicide

セリ然レトモ余ハ斯ノ如キ判決ニ服スルヲ得スロルドベイコンモ亦
破船ノ例ヲ舉ケ海上ニ投出サレタル二人相互ニ一個ノ片板ヲ争ヒ自
己ノ生命ヲ助クル爲メ他人ヲ斥ケ遂ニ溺死セシムルモ決シテ法律ヲ
以テ罰スルヲ得ス如何トナレハ他人ヲ斥ケルニ非ラサレハ到底自己
ノ生命ヲ助クル能ハサルノ必要アリ且ツ二人同一ノ危難ニ遭遇スル
トキハ他人ヲ顧ルノ暇ナク先ツ自己ノ生命ヲ助ケント欲スルハ自衛
ノ原則ニシテ人情ノ免レ難キコトナレハナリト云ヘリ

第二一節 宥恕スヘキ殺害

宥恕スヘキ殺害ニ二種アリ誤テ他人ヲ殺害シ或ハ不意ノ争鬪ヨリシ
テ他人ヲ殺害スル場合即チ是ナリ第一種ハ正當ノ行爲中故意惡念ナ
ク誤テ他人ヲ殺害スル場合ヲ指スモノニシテ例ヘハ人アリ斧ヲ以テ
或ル事ヲ爲スニ當リ其頭飛テ側ニ在ル人ヲ殺害シ或ハ目標ニ向テ發

第一種
宥恕スヘ
キ殺害

misadventure

tilt
tournament

砲シ不圖他人ヲ殺害スルカ如キ正當ナル行爲中不意ノ結果ヲ生スル
 モノヲ云フ又親師等カ其子弟ヲ懲戒シ官吏カ罪囚ヲ罰スルニ當リ子
 弟罪囚ヲ死ニ致ラシムル如キモ亦誤殺タルニ過キス如何トナレハ懲
 治スルノ行爲タル正當ノコトナレハナリ然リト雖モ懲治ノ目的ヲ以
 テスルモ其方法器械及ヒ刑罰ノ分量等其程度ヲ超過シ爲メニ致死セ
 シムルトキハ其情狀ノ如何ニ依リ或ハ殺人罪ナルコトアリ或ハ謀殺
 タルヲ免レサルコトアリ蓋シ過當ノ懲治ハ不正ノ行爲ナルヲ以テナ
 リコンスタンチン帝ノ法令ノ如キモ主人カ其從僕ヲ懲戒スルニ答若
 クハ禁錮ヲ以テシ誤テ死ニ致ラシムルモ其罪ヲ問ハサリシモ若シ棒
 又ハ石等ヲ以テ歐打シ死ニ致ラシメタル場合ハ有罪トセリ
 古代英國人ノ遊戯タリシ假戰シアヒ又ハ馬上モ創鬪ノ如キハ固ヨリ不法ノ行
 爲ナルヲ以テ右等ノ場合ニ於テ若シ武人劍客等ノ殺害セラル、コト

第二種宥
恕スヘキ
殺害

アレハ其殺害ハ謀殺或ハ殺人罪タルヲ免レスト雖モ主權者ノ命令ヲ以テ斯ノ如キ遊戯ヲ認可スル場合ハ其所爲正當ナルヲ以テ好シヤ死ニ致ラシムルコトアルモ誤殺タルニ過キス雅典羅馬等ノ法律ニ依ルモ政府ニ於テ公然許可シタル遊戯中他人ヲ殺害スルモ殺人罪ヲ以テ論スルコトナシ又甲者カ乙者ノ乘リ居ル馬ヲ鞭チタル爲メニ其馬激動シテ近傍ニ立チシ小兒ヲ蹴殺シタル場合ニ於テ乙者ニ取リテハ不慮ノ結果ナリト雖モ甲者ハ殺人罪ノ責ヲ免ル能ハス如何トナレハ他人ノ馬ヲ鞭ハ不正ノ行爲ナルヲ以テナリ要スルニ不正ノ遊戯若クハ行爲ヨリシテ他人ヲ致死セシムルトキハ爲害者ハ殺人罪ノ責ヲ免ル能ハサルモノトス

第二種ノ不慮ノ争鬪ヨリシテ他人ヲ殺害シタル場合ハ英國ノ法律ニテハ正當ト爲スヨリモ寧ロ宥恕スヘキ殺害トス而シテ斯ノ如キ不慮

ノ争鬪ヨリシテ自身ヲ防禦スル爲メ他人ヲ殺害シタル場合ト所謂正當防衛ニ出テ殺害者毫モ瑕瑾ナキ場合トハ能ク其區別ヲ詳カニセサル可カラス第二種ノ殺害ハ二人相争鬪シ怒ニ乗シテ終ニ其一人ヲ殺害スルカ如キ法律上雙方共ニ多少ノ過失アリト推測スル場合ヲ指スモノニシテ一方ニ於テハ毫モ瑕瑾ナキ正當防衛トハ全ク異ナルモノトス又誤殺ト正當防衛トヲ混同スル者アリト雖モ正當防衛トハ他ヨリ不法ノ攻撃ヲ受ケタルヲ以テ已ヲ得ス自身ヲ保護スル場合ニ適用スヘキモノナルコトハヘヌリ一第八世ノ布告及ヒ古代ノ法律ニ徴シテ知ルヘシ正當防衛ノ權アリトテ攻撃ノ權ヲ有スルモノニ非ラス如何トナレハ過去若クハ現在ノ損害ニ對シテハ爲害者ヲ攻撃スルヲ要セス單ニ裁判所ノ保護ヲ仰テ以テ救濟ヲ得レハナリ故ニ被害者ハ法律上此ノ權利ヲ使用スル能ハス正當防禦ノ答辯ヲ以テ殺害者ヲ宥恕

殺人罪ト
防禦殺害
ノ區別

スルニハ實際殺害スルノ外他ニ攻撃ヲ避クルノ方法アラザリシ場合
ニ限ルモノトス
又不意ノ争鬪ニ臨ミ自身ヲ防禦スル爲メ對手ヲ殺害シタル場合ト法
律上ノ所謂殺人罪トヲ區別スルハ甚タ困難ナリト雖モ今其區別ノ大
要ヲ擧グレハ一人カ他ノ一人ヲ殺害スルトキ雙方同様ニ相戦ヒ居リ
シカ或ハ殺害者ニ於テ危急ニ迫リタルニモ非ラサルニ他ヲ殺害シタ
リトセハ爲害者ハ勿論殺人罪タルヲ免レスト雖モ之ニ反シテ一方ノ
對手ハ既ニ争鬪ヲ止メ或ハ止メントシタル後他ノ對手ヨリ攻撃ヲ受
ケ之ヲ防ク爲メ他ノ對手ヲ殺害シタル如キハ宥恕スヘキ防禦殺害ト
ス此ノ故ニ法律上宥恕スヘキ殺害ト爲スニハ一方ノ對手ハ他ノ對手
ヲ殺害スル前既ニ一步ヲ引キ或ハ争鬪ヲ止メテ安全ノ場所ニ退キタ
ルコトヲ必要トス抑モ獨立國相互ニ敵對シテ戦端ヲ開クニ當リ敵人

ヲ避クルハ卑怯ノ譏ヲ免ル、能ハスト雖モ一私人間ノ争鬪ニハ斯ノ如キ譏ヲ招クノ憂ヒナシ如何トナレハ主權者及ヒ其裁判所ハ直ニ被害者ニ對シテ相當ノ救濟ヲ施セハナリ故ニ攻撃ヲ受ケタル對手ハ溝渠若クハ墻壁等ヲ隔テルカ其他猛烈ナル攻撃ヲ避クルニ適當ナル場所ニ退カサル可カラズ然ルモ猶ホ攻撃ヲ受ケ勢ヒ攻撃者ヲ殺害スルニ非ラサレハ自己ノ生命ヲ全フスル能ハサル場合ニ限り之ヲ殺害シ得ルハ一般法理ノ原則ナリトス

防禦ノ方法如何ニ依テ或ハ殺人罪タリ或ハ宥恕スヘキ殺害トナル如ク時日ノ如何モ亦最モ必要ナリトス如何トナレハ争鬪ヲ止メタル後對手ヲ追跡シテ之ヲ攻撃スルカ如キハ是復讐ニシテ防禦ニ非ラサレハナリ且法律ハ人ヲシテ自衛防禦ヲ口實トシ謀殺ノ罪ヲ免レシムルコトヲ許サス例ヘハ甲乙兩人互ニ決鬪ヲ約シ初メ甲ヨリ攻撃ヲ加ヘ

タルトキ乙ハ安全ノ場所ニ退キ然ル後乙者甲者ヲ殺害シタリトセハ是固ヨリ謀殺タルヲ免レス其故ハ最初ヨリ充分ノ惡意存在スルヲ以テナリ又不意ノ爭鬪ヨリシテ甲者先ツ乙者ヲ攻撃シ乙者之ヲ打返サントスルヲ以テ甲者其攻撃ヲ避クル際牆壁ニ突戻サレテ乙者ヲ殺害スル如キ場合ヲ自衛防禦ト爲ス論者アリト雖モ斯ノ如キハ固ト自己ノ過失ヨリシテ起リタルモノナレハ當然ノ自衛防禦ト爲スヲ得サルヘシ又主從親子及ヒ夫妻ノ間ニハ自衛防禦ノ原則ヲ適用シ得ルモノニシテ例ヘハ夫其妻ノ爲メ從者其主ノ爲メ子其親ノ爲メ或ハ親タル者其子ノ爲メ主人其從者ノ爲メ妻其夫ノ爲メニ攻撃者ヲ殺害スルカ如キハ則チ自衛防禦ヲ以テ論ス蓋シ親戚相互ニ扶助スルノ行爲ハ被攻撃者ノ行爲ト同一視スルヲ以テナリ

以前ニ在テハ宥恕スヘキ殺害ハ二種共ニ法律上ヨリシテ多少非難ス

ヘキ點ヲ含蓄スルモノトシ其非難スヘキ點ノ存スルヲ以テ正當殺害ト宥恕スヘキ殺害トヲ區別スルノ理由トセリ誤殺ノ場合ニ於テハ法律ハ常ニ懈怠アルヲ推測シ他人ヲ殺害スルカ如キ不幸ニ陥リタル人ハ必ラス充分ノ注意ヲ用ヒタル者トハ云フ可カラサルヲ以テ全ク過失ナキ者ト爲スヲ得ス又第二種ノ宥恕殺害ノ如キハ不可知ノ非行或ハ排發ヨリ來シタル爭鬪又ハ攻撃ノ結果ニシテ其曲直判然ナラス双方共ニ多少ノ過失アルヲ免レス故ニ法律ハ生殘リタル人ヲ以テ必ラスシモ無罪トハ爲サザルナリ

第三章 重罪殺害[℥]フエロニチー[℥]ス、ホミサイド

重罪殺害トハ正當若クハ宥恕スヘキ理由ナクシテ人類ヲ殺害スルノ行爲ニシテ前章ニ述ヘタル殺害トハ全ク其性質ヲ異ニシ獨リ他人ヲ殺害スルノミナラス自殺スルモ亦同シ

第一節 自殺セルフ・マードー

抑モ人生ハ上帝ノ賜ニシテ苟モ上帝ノ允許ヲ得ルニ非ラサレハ人ノ生命ヲ剝奪スル能ハサルヲ以テ自殺ノ如キハ二重ノ犯罪タルヲ免レス其一ハ上帝ノ特權ヲ侵シテ其咫尺ニ現參スルノ罪ニシテ他ノ一ハ人民保護ノ職ニ在ル主權者ニ對スル罪即チ是ナリ英國ノ法律カ自殺ヲ重罪ノ部ニ入レタルモ蓋シ右ノ理由ニ基クモノナラン又自殺ノ罪モ他ノ重罪ト均シク事實前ノ從犯アルモノニシテ例ハハ甲者アリ乙者ヲ教唆シテ自殺ヲ遂ケシムル如キハ甲者モ亦其罪ヲ免ル、能ハス要スルニ熟慮シテ以テ自身ノ生命ヲ剝奪スル者ハ自殺ノ罪ヲ免ル、能ハスト雖モ故意ニ他人ヲ殺害セントシ不圖自身ヲ殺害スルノ所爲例ハハ他人ヲ銃殺セント爲ルトキ其銃破烈シテ自身ヲ殺害スルカ如キモ亦自殺ノ罪ヲ免ル、ヲ得ス然レトモ甲アリ乙者ニ對シ己ヲ殺害

殺人及ヒ
謀殺

¹³Manslaughter
and murder

¹²Voluntarily
¹³Involuntarily

セシコトヲ依頼シタルヲ以テ乙者之ヲ殺害シタル如キ場合ニ於テ乙者ハ固ヨリ謀殺ノ罪ヲ免レスト雖モ甲者ノ所爲ハ法律上自殺トハナラサルナリ

第二節 殺人及ヒ謀殺

第二種ノ重罪殺害ハ則チ他人ヲ殺害スルノ罪ナリ然レトモ均シク他人ヲ殺害スルノ罪ニシテ數多ノ程度アルヲ以テ今之ヲ大別シテ殺人罪及ヒ謀殺罪ノ二種トス而シテ右二種相異ナル點ハ前章既ニ述ヘタル處ノモノニ就テ之ヲ知ルヲ得ヘシト雖モ其最モ重ナル理由ヲ擧レハ殺人罪ハ一時情慾ノ激動ヨリ生スル所爲ニシテ謀殺ハ之ニ反シテ故意惡念ヨリ起ルモノナリ

故ニ殺人罪トハ故意惡念ナクシテ不法ニ他人ヲ殺害スルノ所爲ヲ云フモノニシテ其中ニ又有有意無意ノ別アリテ一時ノ激動ヨリ來スチ有

有意殺人

意殺人ト云ヒ無意ニ不法ノ行爲ヲナシ爲メニ他人ヲ殺害スルヲ無意殺人ト稱ス故ニ殺人罪ニハ事實前ノ從犯ナシ如何トナレハ豫メ計リタル所爲ニ非ラサレハナリ

有意殺人例ヘハ不意ノ爭鬪ニ依リ一方ノ對手他ノ對手ヲ殺害スル如キハ則チ有意殺人ニシテ甲ノ場所ニ於テ爭鬪シ其中途ヨリ乙ノ場所ニ轉シタル後殺害スルモ亦同シ如何トナレハ最初ヨリ繼續シタル情欲激動ノ結果ナレハナリ又他人ノ爲メニ鼻ヲ削ラル、或ハ唾セラ、如キ侮辱ヲ受ケタルヨリ侮辱者ヲ殺害シタル場合ノ如キハ固ヨリ自衛防禦ヲ以テ論ス可カラスト雖モ左リトテ豫メ計リタル所爲ニ非ラサル以上ハ謀殺トモ云フ可カラス則チ有爲殺人ナリ又均シク他ヨリ挑發ヲ受ケタル場合ト雖モ激怒ヲ解クニ充分ナル時間ヲ經過シタル後挑發者ヲ殺害スル如キハ固ヨリ一時ノ怒ニ乘シテ爲シタル所

殺人罪ト
宥恕自衛
殺害トノ
區別

無意殺人
ト宥恕誤
殺トノ區
別

行ト云フ可カラサルヲ以テ謀殺タルヲ免レス他人カ己ノ妻ト姦通ス
ルヲ發見シ其場所ニ於テ夫之ヲ殺害シ其場所タル若シ夫ノ住家ナレ
ハ「ソロン」及ヒ羅馬法等ニテハ夫ノ罪ヲ問ハサリシト雖モ英國ノ法律
ハ之ト大ニ異ナリ強姦ノ場合ニ於ケル如ク之ヲ正當殺害トナサスシ
テ殺人罪ヲ以テ罰スルモノトセリ以上述ル所ノ如クナルカ故ニ殺人
罪ト宥恕スヘキ自衛殺害ト異ナル處ハ一方ニ於テハ自衛ノ爲メ攻撃
者ヲ殺害スルノ必要アリト雖モ殺人罪ノ場合ニ於テハ毫モ斯ノ如キ
必要ナク復讐ニ出ル不慮ノ行爲ナリト云フニ過キス
又無意殺人罪ノ宥恕スヘキ誤殺ト異ナル處ヲ舉レハ宥恕スヘキ誤殺
ハ常ニ正當ナル所爲ノ結果ナリト雖モ無意殺人ハ之ニ反シテ不正當
ナル行爲ノ結果ナリトス例ヘハ甲乙兩者互ニ刀劍ヲ弄シ甲者乙者ヲ
殺害スル如キハ其所爲固ト不正ナルヲ以テ殺人犯タルヲ免レス又所

爲其物ハ正當ナルモ其之ヲ行フ方法不正ニシテ且ツ相當ノ注意ヲ用
ヒサル場合卽チ市街ニ向テ木石等ヲ投シ爲メニ人ヲ殺害スル如キハ
其狀實ノ如何ニ依テ誤殺殺人或ハ謀殺トナルモノニシテ若シ人ノ通
行稀ナル田舎間ニ於テ相當ノ注意ヲ與ヘタル後木石ヲ投シ爲メニ人
ヲ殺害スルハ單ニ誤殺タルニ過キスト雖モ龍敦府其他人口繁殖ノ場
所ニ於テハ良シヤ相當ノ注意ヲ與ヘタリトスルモ殺人罪ヲ免ル、能
ハス而シテ若シ人ノ通行スルヲ知リナカラ何等ノ注意ヲ與ヘスシテ
木石等ヲ投シ爲メニ其通行者ヲ殺害シタル如キハ謀殺犯ナリトス如
何トナレハ此場合ニ於テハ人類ニ對スル惡意アルヲ以テナリ要スル
ニ不正ナル行爲ノ結果トシテ無意ノ殺害ヲ來ストキハ其行爲ノ性質
如何ニ依テ或ハ殺人犯タリ或ハ謀殺犯タルモノニシテ若シ惡意ヨリ
出テタル行爲ノ結果ナルトキハ固ヨリ謀殺ナリト雖モ單ニ民事上侵

刑殺人罪ノ

謀殺

害ノ意ニ外ナラサルトキハ殺人犯ヲ以テ論スルモノトス
 英國ノ法律ニテハ殺人犯ヲ重罪トシテ第四世九年ノ布告ヲ以
 テ殺人罪ヲ犯シタル者ハ七年以上終身以下ノ徒刑或ハ四年以下ノ禁
 獄又ハ罰金ニ處スルコトヲ定メタリ
 謀殺即チ故意ヲ以テ他人ヲ殺害スルノ罪ハ一般ニ死刑ニ處スルモノ
 トス蓋シ謀殺ノ名稱ハ往古ニ在テハ秘密ニ他人ヲ殺害シタル所爲ニ
 ノミ適用シタルモノニシテ瑞典及ヒ丁抹等ニ於テハ殺害サレタル人
 アル場合ニハ其近傍ノ者ヨリシテ犯罪者ヲ發見シ之ヲ法廷ニ差出サ
 ヲルトキハ其近傍ノ者ヲ以テ該犯罪人トセリブラクトンノ說ニ依レ
 ハ英國ニ於テモカニコト王ノ時代ニハダンス人カ英人ノ爲メ暗殺
 セラル、チ防ク爲メ右ト同一ノ法律ヲ設ケ其後征討者ウキルリヤム
 ノ時代ニモノルマン人ヲ保護スル爲メ矢張り同一ノ法律ヲ設ケタリ

故三「ダンス」若クハ「ノルマン」人等カ暗殺セラレテ其犯罪者ヲ發見スル能ハサル場合ニハ其近傍ニ住スル英人ハ皆罰セラレタリト雖トモ英人カ暗殺セラレタル場合ニハ國民中一人ノ罰セラル、者アラサリシナリ然レトモエドワード三世ノ時ニ至リ斯ノ如キ法律ハ悉ク廢止セラレ内外人ノ區別ナク暗殺セラル、ト否トナ問ハス苟モ故意ヲ以テ他人ヲ殺害スルノ所爲ハ皆謀殺ト稱スルナリ

謀殺ノ定
義

エドワード、コーク氏謀殺ノ定義ヲ下シテ曰ク謀殺トハ健康ナル記憶及ヒ辨別力ヲ有スル人カ惡意豫謀以テ國王ヲ治下ニ浴スル人類ヲ不法ニ殺害スルノ所爲ヲ云フモノナリト故ニ今謀殺犯ノ性質如何ヲ知ラント欲セハ右定義ノ各部分ニ就テ論究スルヲ最良ノ方法トス第一、謀殺ノ犯罪者ハ必ラス健康ナル記憶及ヒ辨別力ヲ有スルノ人ナラサル可カラス如何トナレハ既ニ前ニモ述ヘタル如ク癡狂者及ヒ未

丁年者ハ惡事タルヲ知テ之ヲ爲シタル場合卽チ正邪善惡ノ辨別力存
在シタルコトヲ證明シ得ル時ニ非ラサレハ法律上罪ヲ犯シ能ハサル
モノト推測スルヲ以テナリ

第二、殺害ノ方法ハ必ス不法ナルヲ要ス蓋シ不法ナルコトハ正當若ク
ハ宥恕スヘキ理由ナキヨリ生スルモノニシテ實際謀殺犯ヲ組織スル
ニハ單ニ殺害スルノ意ヲ以テ攻撃スルノミニ止マラス現ニ殺害シタ
ル事ヲ必要ナリトス凡ソ人類ヲ殺害スルニハ毒殺、擊殺、餓死、溺死等其
他千種万類ノ方法アリト雖モ苟モ一種ノ殺害例ヘハ他人ヲ毒殺シタ
リトテ告發セラレタル人ハ射殺溺死等ノ如キ全ク性質ノ異ナル證據
ヲ以テ再ヒ之ヲ告發スルヲ得ス然レモ刀劍ヲ以テ傷ケタリト告發シ
タル場合ニ於テ棒或ハ斧等ヲ以テ傷ケタルノ證據アルカ如キ差異ハ
毫モ不可ナキナリ而シテ右諸種ノ方法中毒殺ヲ以テ最モ惡ムヘキモ

ノトス如何トナレハ之ヲ豫防スルヲ極メテ困難ナルヲ以テナリ故ニ
ヘヌリ一三世ノ如キハ毒殺ノ罪ヲ國事犯ノ部ニ入レ之ヲ罰スルニ
ハ最モ慘酷ナル刑ヲ用ヒ該犯罪者ヲ熱湯中ニ入レテ殺スモノトセ
リ然レモ斯ノ如キ法律ハエドワード第六世ノ時代ニ至リテ悉ク廢止
セラレタリ要スルニ殺害ヲ來スノ結果ヲ豫知シ得ヘキ行爲ヲナシ爲
メニ他人ヲ殺害スルカ如キハ良シヤ自ラ手ヲ下サス且ツ初メヨリシ
テ殺害ヲ企テタルニ非ラサルモ謀殺犯トナルヲアリ例ヘハ娼妓等其
少兒ヲ菓園ノ樹下ニ置去リタルモ偶々紙鳶落來リ爲ニ少兒ヲ害シ或
ハ區役所ノ吏員等カ貧窮ノ孤子ヲ甲區ヨリ乙區ニ乙區ヨリ丙區ト次
第二傳送シ相當ノ注意ト滋養トナクキタル爲メ遂ニ死ニ致ラシメタ
ルカ如キ即チ是ナリ又猛獸ヲ飼養スル輩ノ不注意ヨリシテ猛獸他人
ヲ害シタル場合ノ如キモ其飼養主ハ殺人犯ヲ免レサルモノニシテ若

シ故意ニ之ヲ放チタリトセハ其目的ハ單ニ人民ヲ驚カスニ外ナラサルモ之ヲ煽動シテ他人ヲ害シタルト均シク謀殺犯ヲ以テ論スルモノトス若シ又醫師外科醫等病所ヲ治スルノ目的ヲ以テ劇藥又ハ技術ヲ施シ却テ反對ノ結果ヲ來シ患者ヲ殺害スルカ如キハ謀殺ニ止マリ謀殺ニモ非ラス殺人罪ニモ非ラスト雖モ醫師ノ免許ヲ得サル者カ劇藥又ハ治術ヲ施シ爲メニ患者ヲ殺害シタル場合ハ輕クモ殺人犯タルヲ免レサルヘシヘール氏ハ此ノ點ニ對シ疑問ヲ起シテ曰ク一方ニ於テハ醫師ノ不注意又ハ不熟練ノ爲メ患者ヲ死ニ至ラシムル如キハ其免許ヲ得サルト否トニ關セス殺人犯タルヲ免レサルト明白ナルニ他ノ一方ニ在テ謀殺ト爲スハ其區別判然セサルカ如シト又此殺害ヲ以テ謀殺ト爲スニハ被害者カ被害ノ後一年及ヒ一日内ニ死去スルヲ必要トシ其期限ハ被害ノ日ヨリ起算スルモノトス

明惡意 ^い express malice

第三、被害者ハ被害ノ當時英國皇帝ノ治下ニ浴スル人類ナラサル可カ
ラス故ニ外國人又ハ猶太人等ニシテ英王ノ保護ヲ受ケ居ル者ヲ殺害
スルモ純粹ノ英國人ヲ殺害スルト均シク謀殺ナリトス但シ戰時ニ於
テ敵國人ヲ殺害スルハ此限りニ非ラス又母ノ子宮裡ニ在ル少兒ヲ殺
害スル如キハ他ノ犯罪ニ屬スヘキモノニシテ謀殺犯ニ非ラス
第四、惡意豫謀ニ出テサル殺害ナルヲ必要ナリトス是蓋シ謀殺ト他ノ
殺害トヲ區別スルノ大標準ナラン而シテ惡意ニハ又明意默意ノ別アリ
明惡意トハ心中豫メ殺害ヲ企テ待伏ヲ爲シ或ハ最初ニ毒藥ヲ用ユ
ル等ノ如キ心中ニ企テタルヲ外部ノ行爲ニ現ハス場合ヲ云フモノ
ニシテ例ヘハ兩人相互ニ決鬪ヲ約シテ期日ヲ定メ天人ノ法律ニ違反
シ妄リニ殺害ヲ試ムルヲ以テ恰モ紳士ノ義務男兒ノ權利ト思考スル
ノ勢ナルカ故ニ法律ハ特ニ謀殺ヲ以テ刑罰ヲ施スト雖トモ元來決鬪

ノ如キハ互ニ殺害スルヲ以テ名譽トスルノ妄想ニ出テ大ナル勇氣ヲ要スルモノナレハ何等ノ嚴刑ヲ加ヘタリトテ他ニ對手双方ヲ満足セシムルノ良方法ヲ設ケサル以上ハ到底斯ノ如キ不幸ノ習慣ヲ脱却スルヲ能ハサルヘシ又他ヨリ排發ヲ受ケ慘酷ナル方法ヲ以テ排發者ヲ歐打シ爲メニ致死セシメタル如キハ假令ヒ殺害ヲ企テタルニ非ラサルモ明惡意ノ謀殺タルヲ免レス公園ノ看守人カ園中ノ樹木ヲ切斷シタル少年ヲ懲ス爲メ之ヲ馬尾ニ縛リ附テ園中ヲ馳セ廻ラシメ主人カ其從僕ヲ懲治スル目的ヲ以テ鐵棒ニテ之ヲ歐打シ爲メニ少年從僕等ヲ殺害シタル場合モ亦均シク謀殺犯ナリトス如何トナレハ懲治スルニモ程度アリテ斯ノ如キ過度ノ方法ヲ用ユルハ苟モ惡意アルニ非ラサレハ決シテ爲シ得可カラサルヲナレハナリ故意ニ一般ノ人類ヲ敵視スルノ行爲ヲナス者例ヘハ群衆ニ對シテ馬ヲ馳セ大砲ヲ放チ或ハ

途上遭遇スル者ヲ殺害セント決定スルカ如キ其殺害セラル、者ハ何人ナルヤ確定セサルモ一般ニ對スル惡意アルヲ以テ均シク謀殺犯ナリトス若シ又二名或ハ二人以上相徒黨シテ一揆強盜等ノ如キ公安ヲ害スル不法ノ所行ヲ爲スニ當リ徒黨中ノ一ハカ良民ヲ殺害シタルカ如キ場合ニ於テハ其殺害者一人ノミナラス他ノ徒黨皆謀殺犯ヲ以テ論スルモノトス蓋シ最初ヨリシテ其行爲不法ナルヲ以テナリ惡意ノ判然外部ニ發露セサル場合ニ於テハ法律上惡意ノ存在ヲ推測スルコトアリ例ヘハ故意豫謀以テ他人ヲ毒害スル如キハ特別ニ怨恨ヲ證明シ能ハサルモ法律ハ惡意存在シタルモノト推測シ或ハ排發モナキ場合不意ニ他人ヲ殺害シ假令ヒ排發ヲ受ケタリトスルモ其程度甚タ輕少ナルニモ拘ラス他人ヲ殺害シタル如キモ亦然リ如何トナレハ苟モ無感覺ノ人物ニ非ラサル以上ハ無原因ノ行爲ヨリ生スル結果

ノ責ヲ免ル、能ハサレハナリ又言語若クハ形容ノミヲ以テ排發セラレタリトテ未タ之ヲ以テ排發者ヲ殺害スルノ理由ト爲スヲ得ス然レモ排發サレタル人カ不幸ニモ排發者ヲ歐打シテ殺害シ其歐打ノ方法タル之ヲ督責スルノ意ニ出テ殺害ノ意ヲ以テシタルニ非ラサルトテ證明スルニ足ルモ或ハ殺人罪ヲ以テ論スルトアリ又司法官等カ其職務ヲ行フニ當リ司法官タルトテ知リナカラ抗抵シテ遂ニ之ヲ殺害シ或ハ司法官ニ抵抗スル際ニ司法官ヲ補助スル人ヲ殺害シタル如キ場合ニ於テハ法律ハ惡意ノ存在ヲ推測シ殺害者ヲ罰スルニ謀殺ノ刑ヲ以テスルト雖モ若シ司法官ニシテ命令狀ヲ所持セサルカ或ハ不法ノ所爲アル場合ニ抗抵シテ遂ニ之ヲ殺害シタル如キハ單ニ殺人罪タルニ過キサルナリ又甲乙ノ兩人相互ニ爭鬪スルヲ視テ丙者之ヲ和解セシメントテ其意ヲ兩人ニ告ケ仲裁セントシタルニ爭鬪者ノ一人ハ

英国刑法/渋谷慥爾(講義)；畔上啓策(編輯)

(英吉利法律講義録 (1886 (明治 19) 年度 第 1 年級))

89 ページ以降の講義録 (37 号以降) は非所蔵